

# 入学試験問題 参考解答集 2022



04 2023 年度 東北芸術工科大学 入学試験一覧（予定）

06 2022 年度入学試験結果データ

15 総合型選抜入学試験 [専願体験型]

25 実技

26 小論文

35 デッサン

43 水彩画

48 油彩画

55 教科科目

56 英語

66 国語

78 数学

82 教科科目解答

## 入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

東北芸術工科大学は、「藝術立国」という理念のもと、“人と自然を思いやる想像力と、社会を変革する創造力を身につけ、自らの意思で未来を切り拓くことができる人材の育成”を教育目標としています。芸術学部及びデザイン工学部の入学者選抜では、それぞれの専門領域に即して多面的・総合的に評価するために、次の観点から入学希望者を募集します。

- ① 芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
- ② 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
- ③ 社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人

### 芸術学部

芸術は、美を求める純粋な心と知に基づくものであり、人々に夢や希望を与え、新たな価値を生み出す力があります。多様性を学び取る柔軟な姿勢と、自らの創造力や感性を粘り強く磨き続ける意志を身につけ、芸術の力を社会の真の豊かさに向けて活かそうとする入学希望者を求めます。

### デザイン工学部

デザインとは、見た目を装飾するだけでなく、今や「デザイン思考」として、人間社会の改善や進化に必要不可欠な技術となっています。自己表現や趣味にとどまらず、広く社会をイメージし、何のためにデザインを活用すべきなのか。モノやコトに対するデザインを学び、社会に積極参加しようとする入学希望者を求めます。

# 2023年度 東北芸術工科大学 入学試験一覧(予定)

|                              | 総合型選抜入試【専願体験型】                                                                                                                                                                       |  | 総合型選抜入試【併願型】 |                                                                                              |      |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 出願登録期間                       | 2022 年 9 月 14 日（水）～ 27 日（火）                                                                                                                                                          |  | 募集人員         | 2022 年 11 月 14 日（月）～ 25 日（金）                                                                 | 募集人員 |
| 試験日                          | 10 月 8 日（土）または 10 月 9 日（日）<br>※学科・コースにより実施日が異なります。                                                                                                                                   |  |              | 12 月 11 日（日）                                                                                 |      |
| 合格発表                         | 11 月 1 日（火）                                                                                                                                                                          |  |              | 12 月 21 日（水）                                                                                 |      |
| 入学手続締切〈第一次〉<br>※入学金納付期限      | 11 月 15 日（火）                                                                                                                                                                         |  |              | 2023 年 1 月 11 日（水）                                                                           |      |
| 入学手続締切〈第二次〉<br>※授業料等納付期限     | 12 月 16 日（金）                                                                                                                                                                         |  |              | 2023 年 2 月 17 日（金）<br>※申請により 3/24 まで延納が可能                                                    |      |
| 試験会場                         | 山形                                                                                                                                                                                   |  |              | 山形／東京                                                                                        |      |
| 美術科<br>日本画コース                | ①体験授業（日本画の写生体験）<br>決められたエリア内（屋内）で、各自写生を行う<br>②上記体験を通じて感じたこと、考えたことを文章化し、振り返りシートの提出する<br>③面接（1 グループ 2 ～ 3 人で行う）                                                                        |  | 58           | 面接・書類審査※1<br>＋<br>次から 1 科目：<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4<br>「デッサン」                                  | 29   |
| 美術科<br>洋画コース                 | ①体験授業（静物油彩）油彩制作におけるポイントレクチャーを行い、その後モチーフを組み各自油彩制作を行う<br>②面接（グループで行い、当日制作した作品をもとにミニ講評会を兼ねる）                                                                                            |  |              |                                                                                              |      |
| 美術科<br>版画コース                 | ①体験授業（イラストレーション制作 or 自画像デッサン制作）<br>当日にイラストレーション、自画像デッサンのいずれかを選択し、事前レクチャーを行った後に制作を行う<br>②ミニ講評会 体験授業終了後ミニ講評会を実施し、体験授業を通じて気づいたことをミニレポートに書く<br>③面接                                       |  |              |                                                                                              |      |
| 美術科<br>彫刻コース                 | ①体験授業（彫刻制作体験）大学周辺を散策し、収集した自然物やスケッチをもとに各自が自由な発想で粘土を使って立体作品を制作する<br>②振り返り 制作物の意図や感想を発表する<br>③面接                                                                                        |  |              |                                                                                              |      |
| 美術科<br>総合美術コース               | ①体験授業（アートワークショップ体験）アートワークショップを体験し気づきや活動のねらいをまとめ、それを活用したイベント企画を考えグループで発表する<br>②面接                                                                                                     |  |              |                                                                                              |      |
| 工芸デザイン学科<br>※ 2023 年 4 月新設予定 | ①体験授業（立体&平面制作体験）<br>立体制作では紙造形を基本として説明を受けた後、与えられた条件に沿って制作する。平面制作では配色に関する前提講義を受けた後、各自テーマを設定し配色デザインを行う<br>②テーマと工夫した点を発表<br>③面接                                                          |  | 21           |                                                                                              | 11   |
| 文芸学科                         | ①体験授業 教員による説明を経て、グループ単位で昔話をリライト（書き換え）する体験型演習を受講する<br>②作文 ①で行ったグループワークについて執筆する（600 字程度）<br>③面接                                                                                        |  | 22           |                                                                                              | 7    |
| 文化財保存修復学科                    | ①体験授業 文化財保存修復に関するミニ講義を受講した後、ミニレポートを提出する<br>②面接                                                                                                                                       |  | 13           |                                                                                              | 3    |
| 歴史遺産学科                       | ①体験授業（模擬授業とグループディスカッション）<br>・模擬授業にて身近で具体的な歴史遺産（考古遺跡や伝統的建造物など）をひとつ取り上げ、教員が説明を行う<br>・7 ～ 8 名程度のグループに分かれ上記歴史遺産の利活用を話し合う<br>・講義の感想とグループで話したことを講義ノート（A4 一枚程度）としてまとめ、面接冒頭に 3 分程度で話す<br>②面接 |  | 13           | 面接・書類審査※1<br>＋<br>次から 1 科目：<br>「小論文」<br>「デッサン」<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4<br>「国語」<br>「数学」<br>「英語」 | 6    |
| プロダクト<br>デザイン学科              | ①体験授業 身のまわりのモノの機能や形態を観察し、その理由を考える。前半のグループワークではそれらの優れた点や改善すべき点を共有し、後半の個人ワークでは、対象となるモノの応用展開案を提案する<br>②面接                                                                               |  | 32           |                                                                                              | 13   |
| 建築・環境<br>デザイン学科              | ①体験授業 建築、まち、自然や環境問題に関するミニ講義を受講後、講義に対する自身の意見をミニレポートにまとめる<br>②面接                                                                                                                       |  | 20           |                                                                                              | 14   |
| グラフィック<br>デザイン学科             | ①体験授業 デザインに関する模擬授業を受けた後、その内容を基にグループで発表を行う<br>②面接                                                                                                                                     |  | 40           |                                                                                              | 17   |
| 映像学科                         | ①創作体験 1 つのキーワードから独自の映像作品をイメージし、その世界観をアイデアスケッチと文章（600 字以内）で表現する<br>②面接                                                                                                                |  | 32           |                                                                                              | 14   |
| 企画構想学科                       | ①体験授業<br>・ミニ講義 課題解決型ワークショップの進め方に関する講義を受講する<br>・課題解決型ワークショップ 提示された課題に対して、グループに分かれて企画を考え発表を行う<br>・振り返りシート ミニ講義とワークショップを振り返り、整理した内容を記入する<br>②面接                                         |  | 26           |                                                                                              | 10   |
| コミュニティ<br>デザイン学科             | ①体験授業<br>・講義 課題解決型ワークショップについて学ぶ<br>・地域の社会的課題を解決するためのアイデア会議 講義で提示された地域の社会的課題を解決し、SDGs に寄与する社会を実現するモノやコトをグループで話し合い発表する<br>・振り返り 自身の気づきや考えについてレポートを作成する<br>②面接                          |  | 16           |                                                                                              | 6    |

※1「書類審査」とは、「高等学校調査書」及び「出願書類」による総合評価です。 ※2 募集人員は、一般選抜入試(前期)、大学入学共通テスト利用入試(1科目利用)及び(2科目利用前期)を合算したものです。  
 ※3 水彩画を選択する場合は第一志望から第三志望のいずれかで、必ず日本画コースを志望してください。 ※4 油彩画を選択する場合は第一志望から第三志望のいずれかで、必ず洋画コースを志望してください。  
 ※5 一般選抜入試【専願型】で水彩画を選択する場合は第一志望または第二志望で必ず日本画コースを志望してください。

※下記の内容は、2022年4月1日現在の予定です。詳細は、別途発行の「東北芸術工科大学 2023年度 学生募集要項」で必ず確認してください。

| 一般選抜入試<br>【前期】                                                        |  | 大学入学共通テスト利用<br>入試【1科目利用】                                                       |  | 大学入学共通テスト利用<br>入試【2科目利用 前期】 |  | 一般選抜入試<br>【専願型】 |                                       | 一般選抜入試<br>【面接型】       |                                              | 一般選抜入試<br>【後期】                                   |                               | 大学入学共通テスト利用<br>入試【2科目利用 後期】 |        |                                                                         |   |
|-----------------------------------------------------------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------|--|-----------------|---------------------------------------|-----------------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------|---|
| 2023年1月5日（木）～20日（金）                                                   |  |                                                                                |  | 2023年1月5日(木)<br>～23日（月）     |  | 募集人員<br>※2      | 2023年1月5日(木)<br>～13日（金）               |                       | 2023年2月17日(金)<br>～24日（金）                     |                                                  | 2023年2月17日（金）<br>～3月3日（金）     |                             |        |                                                                         |   |
| 1月31日（火）                                                              |  |                                                                                |  | 個別試験なし                      |  |                 | 1月31日（火）                              |                       | 3月14日（火）<br><small>接続テスト3/6または3/7 ※7</small> |                                                  | 3月14日（火）                      |                             | 個別試験なし |                                                                         |   |
| 2月16日（木）                                                              |  |                                                                                |  |                             |  |                 | 2月16日（木）                              |                       |                                              |                                                  | 3月20日（月）                      |                             |        |                                                                         |   |
| 3月2日（木）                                                               |  |                                                                                |  |                             |  |                 | 3月2日（木）                               |                       |                                              |                                                  | 3月24日（金）                      |                             |        |                                                                         |   |
| 3月9日（木）<br>※申請により3/24まで延納が可能                                          |  |                                                                                |  |                             |  |                 | 3月9日（木）                               |                       |                                              |                                                  |                               |                             |        |                                                                         |   |
| 山形／東京／札幌／仙台                                                           |  |                                                                                |  | —                           |  |                 | 山形                                    |                       | オンライン                                        |                                                  | 山形／東京                         |                             | —      |                                                                         |   |
| 次から1科目：<br>「国語」<br>「数学」<br>「英語」<br>＋<br>次から1科目：<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4 |  | 大学入学共通テストの<br>成績上位1科目<br>＋<br>次から1科目：<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4                    |  | —                           |  |                 | 面接・書類審査 ※1<br>＋<br>「水彩画」※5<br>「油彩画」※6 |                       | —                                            |                                                  | 次から1科目：<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4 |                             | —      |                                                                         |   |
| ①・②のいずれか                                                              |  | 大学入学共通テストの<br>成績上位1科目<br>＋<br>次から1科目：<br>「小論文」<br>「デッサン」<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4 |  | 大学入学共通テストの<br>成績上位2科目       |  | 30              | 7                                     | 面接(オンライン)<br>・書類審査 ※1 |                                              | 次から1科目：<br>「小論文」<br>「デッサン」<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4 |                               | 大学入学共通テストの<br>成績上位2科目       |        |                                                                         |   |
|                                                                       |  |                                                                                |  |                             |  | 11              |                                       |                       |                                              |                                                  |                               |                             |        | ①・②・③の<br>いずれか                                                          | 2 |
|                                                                       |  |                                                                                |  |                             |  | 11              |                                       |                       |                                              |                                                  |                               |                             |        | ①面接・書類審査<br>※1<br>＋<br>次から1科目：<br>「小論文」<br>「デッサン」<br>「水彩画」※5<br>「油彩画」※6 | 2 |
|                                                                       |  |                                                                                |  |                             |  | 8               |                                       |                       |                                              |                                                  |                               |                             |        |                                                                         | 2 |
|                                                                       |  |                                                                                |  |                             |  | 11              |                                       |                       |                                              |                                                  |                               |                             |        | ②面接・書類審査<br>※1<br>＋<br>次から1科目：<br>「国語」<br>「数学」<br>「英語」                  | 2 |
|                                                                       |  |                                                                                |  |                             |  | 15              |                                       |                       |                                              |                                                  |                               |                             |        |                                                                         | 2 |
|                                                                       |  |                                                                                |  |                             |  | 14              |                                       |                       |                                              |                                                  |                               |                             |        |                                                                         | 2 |
|                                                                       |  |                                                                                |  |                             |  | 9               |                                       |                       |                                              |                                                  |                               |                             |        | ③面接・書類審査<br>※1<br>＋<br>大学入学共通テスト<br>の成績上位1科目                            | 2 |
|                                                                       |  |                                                                                |  |                             |  | 14              |                                       |                       |                                              |                                                  |                               |                             |        |                                                                         | 2 |
|                                                                       |  |                                                                                |  |                             |  | 12              |                                       |                       |                                              |                                                  |                               |                             |        |                                                                         | 2 |
|                                                                       |  |                                                                                |  |                             |  | 6               |                                       | 2                     |                                              |                                                  |                               |                             |        |                                                                         |   |
| 若干名                                                                   |  |                                                                                |  |                             |  |                 |                                       |                       |                                              |                                                  |                               |                             |        |                                                                         |   |

※6 一般選抜入試【専願型】で油彩画を選択する場合は第一志望または第二志望で必ず洋画コースを志望してください。

※7 一般選抜入試【面接型】はオンラインで実施するため、試験日の前にインターネットの通信接続環境の確認およびZoomの動作確認のための「接続テスト」を行います。  
実施日については出願後メールにてお知らせします。

# 2022年度 入学試験結果データ

## 総合型選抜入学試験[専願体験型]

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数       | 受験倍率<br>(a) / (b) |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|-------------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>127</b> | <b>216</b> | <b>214</b>  | <b>158</b>  | <b>158</b> | <b>1.4</b>        |
| 文化財保存修復学科      | 13         | 23         | 23          | 18          | 18         | 1.3               |
| 歴史遺産学科         | 13         | 18         | 18          | 15          | 15         | 1.2               |
| 美術科            | 79         | 138        | 136         | 96          | 96         | 1.4               |
| 日本画コース         |            | 23         | 23          | 21          | 21         | 1.1               |
| 洋画コース          |            | 61         | 61          | 28          | 28         | 2.2               |
| 版画コース          |            | 4          | 4           | 4           | 4          | 1.0               |
| 彫刻コース          |            | 7          | 7           | 7           | 7          | 1.0               |
| 工芸コース          |            | 15         | 15          | 14          | 14         | 1.1               |
| テキスタイルコース      |            | 13         | 11          | 8           | 8          | 1.4               |
| 総合美術コース        |            | 15         | 15          | 14          | 14         | 1.1               |
| 文芸学科           | 22         | 37         | 37          | 29          | 29         | 1.3               |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>167</b> | <b>330</b> | <b>329</b>  | <b>182</b>  | <b>182</b> | <b>1.8</b>        |
| プロダクトデザイン学科    | 32         | 53         | 52          | 37          | 37         | 1.4               |
| 建築・環境デザイン学科    | 20         | 48         | 48          | 23          | 23         | 2.1               |
| グラフィックデザイン学科   | 41         | 84         | 84          | 42          | 42         | 2.0               |
| 映像学科           | 32         | 97         | 97          | 38          | 38         | 2.6               |
| 企画構想学科         | 26         | 36         | 36          | 30          | 30         | 1.2               |
| コミュニティデザイン学科   | 16         | 12         | 12          | 12          | 12         | 1.0               |
| <b>全学計</b>     | <b>294</b> | <b>546</b> | <b>543</b>  | <b>340</b>  | <b>340</b> | <b>1.6</b>        |

## 総合型選抜入学試験[併願型]

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数       | 受験倍率<br>(a) / (b) |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|-------------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>56</b>  | <b>240</b> | <b>221</b>  | <b>84</b>   | <b>69</b>  | <b>2.6</b>        |
| 文化財保存修復学科      | 3          | 9          | 7           | 5           | 5          | 1.4               |
| 歴史遺産学科         | 6          | 13         | 10          | 10          | 9          | 1.0               |
| 美術科            | 40         | 195        | 182         | 62          | 48         | 2.9               |
| 日本画コース         |            | 26         | 26          | 15          | 10         | 1.7               |
| 洋画コース          |            | 60         | 58          | 16          | 11         | 3.6               |
| 版画コース          |            | 23         | 23          | 7           | 7          | 3.3               |
| 彫刻コース          |            | 11         | 10          | 4           | 4          | 2.5               |
| 工芸コース          |            | 30         | 26          | 13          | 10         | 2.0               |
| テキスタイルコース      |            | 16         | 12          | 2           | 2          | 6.0               |
| 総合美術コース        |            | 29         | 27          | 5           | 4          | 5.4               |
| 文芸学科           | 7          | 23         | 22          | 7           | 7          | 3.1               |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>71</b>  | <b>390</b> | <b>369</b>  | <b>118</b>  | <b>103</b> | <b>3.1</b>        |
| プロダクトデザイン学科    | 13         | 69         | 65          | 25          | 18         | 2.6               |
| 建築・環境デザイン学科    | 14         | 55         | 52          | 21          | 21         | 2.5               |
| グラフィックデザイン学科   | 14         | 90         | 83          | 28          | 21         | 3.0               |
| 映像学科           | 14         | 88         | 83          | 18          | 17         | 4.6               |
| 企画構想学科         | 10         | 59         | 59          | 16          | 16         | 3.7               |
| コミュニティデザイン学科   | 6          | 29         | 27          | 10          | 10         | 2.7               |
| <b>全学計</b>     | <b>127</b> | <b>630</b> | <b>590</b>  | <b>202</b>  | <b>172</b> | <b>2.9</b>        |

※学校推薦型選抜入試を含む。

## 一般選抜入学試験[前期]

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数      | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|-----------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>71</b>  | <b>183</b> | <b>180</b>  | <b>47</b>   | <b>13</b> | <b>3.8</b>      |
| 文化財保存修復学科      | 8          | 24         | 24          | 4           | 1         | 6.0             |
| 歴史遺産学科         | 11         | 18         | 17          | 6           | 1         | 2.8             |
| 美術科            | 41         | 125        | 123         | 33          | 10        | 3.7             |
| 日本画コース         |            | 25         | 25          | 8           | 3         | 3.1             |
| 洋画コース          |            | 29         | 29          | 7           | 3         | 4.1             |
| 版画コース          |            | 8          | 8           | 3           | 0         | 2.7             |
| 彫刻コース          |            | 9          | 9           | 4           | 1         | 2.3             |
| 工芸コース          |            | 20         | 19          | 7           | 2         | 2.7             |
| テキスタイルコース      |            | 10         | 10          | 1           | 0         | 10.0            |
| 総合美術コース        |            | 24         | 23          | 3           | 1         | 7.7             |
| 文芸学科           | 11         | 16         | 16          | 4           | 1         | 4.0             |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>72</b>  | <b>297</b> | <b>291</b>  | <b>41</b>   | <b>17</b> | <b>7.1</b>      |
| プロダクトデザイン学科    | 15         | 67         | 65          | 12          | 6         | 5.4             |
| 建築・環境デザイン学科    | 14         | 48         | 47          | 4           | 1         | 11.8            |
| グラフィックデザイン学科   | 11         | 75         | 74          | 5           | 3         | 14.8            |
| 映像学科           | 14         | 56         | 55          | 4           | 2         | 13.8            |
| 企画構想学科         | 12         | 28         | 27          | 2           | 0         | 13.5            |
| コミュニティデザイン学科   | 6          | 23         | 23          | 14          | 5         | 1.6             |
| <b>全学計</b>     | <b>143</b> | <b>480</b> | <b>471</b>  | <b>88</b>   | <b>30</b> | <b>5.4</b>      |

※外国人留学生特別選抜入試を含む。

※募集人員は一般選抜入試[前期]、共通テスト利用入試[1科目利用・2科目利用前期]を合算した人数。

## 一般選抜入学試験[専願型]

| 学部・学科・コース      | 募集人員      | 志願者数      | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数      | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|-----------|-----------|-------------|-------------|-----------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>15</b> | <b>18</b> | <b>18</b>   | <b>8</b>    | <b>8</b>  | <b>2.3</b>      |
| 文化財保存修復学科      | 2         | 1         | 1           | 1           | 1         | 1.0             |
| 歴史遺産学科         | 2         | 1         | 1           | 1           | 1         | 1.0             |
| 美術科            | 9         | 11        | 11          | 4           | 4         | 2.8             |
| 日本画コース         |           | 0         | 0           | 0           | 0         | -               |
| 洋画コース          |           | 8         | 8           | 3           | 3         | 2.7             |
| 版画コース          |           | 0         | 0           | 0           | 0         | -               |
| 彫刻コース          |           | 0         | 0           | 0           | 0         | -               |
| 工芸コース          |           | 0         | 0           | 0           | 0         | -               |
| テキスタイルコース      |           | 2         | 2           | 0           | 0         | -               |
| 総合美術コース        |           | 1         | 1           | 1           | 1         | 1.0             |
| 文芸学科           | 2         | 5         | 5           | 2           | 2         | 2.5             |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>12</b> | <b>51</b> | <b>51</b>   | <b>11</b>   | <b>11</b> | <b>4.6</b>      |
| プロダクトデザイン学科    | 2         | 5         | 5           | 1           | 1         | 5.0             |
| 建築・環境デザイン学科    | 2         | 12        | 12          | 3           | 3         | 4.0             |
| グラフィックデザイン学科   | 2         | 9         | 9           | 2           | 2         | 4.5             |
| 映像学科           | 2         | 20        | 20          | 3           | 3         | 6.7             |
| 企画構想学科         | 2         | 3         | 3           | 2           | 2         | 1.5             |
| コミュニティデザイン学科   | 2         | 2         | 2           | 0           | 0         | -               |
| <b>全学計</b>     | <b>27</b> | <b>69</b> | <b>69</b>   | <b>19</b>   | <b>19</b> | <b>3.6</b>      |

## 大学入学共通テスト利用入学試験 [1科目利用]

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数      | 受験倍率<br>(a) / (b) |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|-----------|-------------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>71</b>  | <b>156</b> | <b>152</b>  | <b>46</b>   | <b>9</b>  | <b>3.3</b>        |
| 文化財保存修復学科      | 8          | 14         | 14          | 2           | 0         | 7.0               |
| 歴史遺産学科         | 11         | 9          | 8           | 2           | 0         | 4.0               |
| 美術科            | 41         | 123        | 120         | 39          | 8         | 3.1               |
| 日本画コース         |            | 31         | 31          | 13          | 2         | 2.4               |
| 洋画コース          |            | 31         | 31          | 12          | 2         | 2.6               |
| 版画コース          |            | 11         | 11          | 1           | 1         | 11.0              |
| 彫刻コース          |            | 7          | 7           | 2           | 0         | 3.5               |
| 工芸コース          |            | 19         | 18          | 7           | 1         | 2.6               |
| テキスタイルコース      |            | 6          | 5           | 1           | 0         | 5.0               |
| 総合美術コース        |            | 18         | 17          | 3           | 2         | 5.7               |
| 文芸学科           | 11         | 10         | 10          | 3           | 1         | 3.3               |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>72</b>  | <b>172</b> | <b>169</b>  | <b>32</b>   | <b>11</b> | <b>5.3</b>        |
| プロダクトデザイン学科    | 15         | 38         | 37          | 5           | 2         | 7.4               |
| 建築・環境デザイン学科    | 14         | 20         | 20          | 2           | 2         | 10.0              |
| グラフィックデザイン学科   | 11         | 54         | 52          | 10          | 3         | 5.2               |
| 映像学科           | 14         | 31         | 31          | 5           | 3         | 6.2               |
| 企画構想学科         | 12         | 15         | 15          | 3           | 0         | 5.0               |
| コミュニティデザイン学科   | 6          | 14         | 14          | 7           | 1         | 2.0               |
| <b>全学計</b>     | <b>143</b> | <b>328</b> | <b>321</b>  | <b>78</b>   | <b>20</b> | <b>4.1</b>        |

※募集人員は一般選抜入試〔前期〕、共通テスト利用入試〔1科目利用・2科目利用前期〕を合算した人数。

## 大学入学共通テスト利用入学試験 [2科目利用前期]

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数     | 受験倍率<br>(a) / (b) |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|----------|-------------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>71</b>  | <b>148</b> | <b>148</b>  | <b>29</b>   | <b>3</b> | <b>5.1</b>        |
| 文化財保存修復学科      | 8          | 25         | 25          | 8           | 0        | 3.1               |
| 歴史遺産学科         | 11         | 29         | 29          | 8           | 1        | 3.6               |
| 美術科            | 41         | 69         | 69          | 11          | 2        | 6.3               |
| 版画コース          |            | 6          | 6           | 2           | 0        | 3.0               |
| 彫刻コース          |            | 8          | 8           | 1           | 1        | 8.0               |
| 工芸コース          |            | 20         | 20          | 3           | 0        | 6.7               |
| テキスタイルコース      |            | 11         | 11          | 4           | 1        | 2.8               |
| 総合美術コース        |            | 24         | 24          | 1           | 0        | 24.0              |
| 文芸学科           | 11         | 25         | 25          | 2           | 0        | 12.5              |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>72</b>  | <b>333</b> | <b>333</b>  | <b>40</b>   | <b>4</b> | <b>8.3</b>        |
| プロダクトデザイン学科    | 15         | 71         | 71          | 9           | 1        | 7.9               |
| 建築・環境デザイン学科    | 14         | 54         | 54          | 6           | 1        | 9.0               |
| グラフィックデザイン学科   | 11         | 82         | 82          | 3           | 0        | 27.3              |
| 映像学科           | 14         | 61         | 61          | 9           | 0        | 6.8               |
| 企画構想学科         | 12         | 40         | 40          | 3           | 1        | 13.3              |
| コミュニティデザイン学科   | 6          | 25         | 25          | 10          | 1        | 2.5               |
| <b>全学計</b>     | <b>143</b> | <b>481</b> | <b>481</b>  | <b>69</b>   | <b>7</b> | <b>7.0</b>        |

※募集人員は一般選抜入試〔前期〕、共通テスト利用入試〔1科目利用・2科目利用前期〕を合算した人数。

※美術科日本画コース、美術科洋画コースは本試験での募集がありません。

## 一般選抜入学試験〔後期〕

| 学部・学科・コース      | 募集人員 | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数      | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|------|------------|-------------|-------------|-----------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | 若干名  | <b>73</b>  | <b>64</b>   | <b>20</b>   | <b>14</b> | <b>3.7</b>      |
| 文化財保存修復学科      |      | 6          | 6           | 0           | 0         | -               |
| 歴史遺産学科         |      | 4          | 4           | 3           | 3         | 1.3             |
| 美術科            |      | 53         | 45          | 13          | 7         | 3.5             |
| 日本画コース         |      | 4          | 3           | 2           | 1         | 1.4             |
| 洋画コース          |      | 17         | 16          | 2           | 2         | 8.0             |
| 版画コース          |      | 4          | 3           | 1           | 1         | 3.0             |
| 彫刻コース          |      | 1          | 1           | 0           | 0         | -               |
| 工芸コース          |      | 9          | 8           | 5           | 1         | 1.6             |
| テキスタイルコース      |      | 11         | 9           | 1           | 0         | 9.0             |
| 総合美術コース        |      | 7          | 5           | 2           | 2         | 2.5             |
| 文芸学科           |      | 10         | 9           | 4           | 4         | 2.3             |
| <b>デザイン工学部</b> |      | <b>71</b>  | <b>62</b>   | <b>6</b>    | <b>6</b>  | <b>10.3</b>     |
| プロダクトデザイン学科    |      | 18         | 16          | 1           | 1         | 16.0            |
| 建築・環境デザイン学科    |      | 5          | 4           | 0           | 0         | -               |
| グラフィックデザイン学科   |      | 23         | 20          | 1           | 1         | 20.0            |
| 映像学科           |      | 17         | 14          | 1           | 1         | 14.0            |
| 企画構想学科         |      | 4          | 4           | 1           | 1         | 4.0             |
| コミュニティデザイン学科   |      | 4          | 4           | 2           | 2         | 2.0             |
| <b>全学計</b>     |      | <b>144</b> | <b>126</b>  | <b>26</b>   | <b>20</b> | <b>4.8</b>      |

※募集人員は一般選抜入試〔後期・面接型〕、共通テスト利用入試〔2科目利用後期〕を合算した人数。

## 一般選抜入学試験〔面接型〕

| 学部・学科・コース      | 募集人員 | 志願者数      | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数     | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|------|-----------|-------------|-------------|----------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | 若干名  | <b>8</b>  | <b>8</b>    | <b>3</b>    | <b>1</b> | <b>2.7</b>      |
| 文化財保存修復学科      |      | 1         | 1           | 0           | 0        | -               |
| 歴史遺産学科         |      | 3         | 3           | 1           | 0        | 3.0             |
| 美術科            |      | 4         | 4           | 2           | 1        | 2.0             |
| 版画コース          |      | 0         | 0           | 0           | 0        | -               |
| 彫刻コース          |      | 1         | 1           | 1           | 0        | 1.0             |
| 工芸コース          |      | 1         | 1           | 0           | 0        | -               |
| テキスタイルコース      |      | 2         | 2           | 1           | 1        | 2.0             |
| 総合美術コース        |      | 0         | 0           | 0           | 0        | -               |
| 文芸学科           |      | 0         | 0           | 0           | 0        | -               |
| <b>デザイン工学部</b> |      | <b>39</b> | <b>32</b>   | <b>7</b>    | <b>6</b> | <b>4.6</b>      |
| プロダクトデザイン学科    |      | 8         | 4           | 1           | 0        | 4.0             |
| 建築・環境デザイン学科    |      | 11        | 8           | 3           | 3        | 2.7             |
| グラフィックデザイン学科   |      | 4         | 4           | 0           | 0        | -               |
| 映像学科           |      | 6         | 6           | 1           | 1        | 6.0             |
| 企画構想学科         |      | 5         | 5           | 1           | 1        | 5.0             |
| コミュニティデザイン学科   |      | 5         | 5           | 1           | 1        | 5.0             |
| <b>全学計</b>     |      | <b>47</b> | <b>40</b>   | <b>10</b>   | <b>7</b> | <b>4.0</b>      |

※募集人員は一般選抜入試〔後期・面接型〕、共通テスト利用入試〔2科目利用後期〕を合算した人数。

※美術科日本画コース、美術科洋画コースは本試験での募集がありません。

## 大学入学共通テスト利用入学試験[2科目利用後期]

| 学部・学科・コース      | 募集人員 | 志願者数      | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数     | 受験倍率<br>(a) / (b) |
|----------------|------|-----------|-------------|-------------|----------|-------------------|
| <b>芸術学部</b>    | 若干名  | <b>30</b> | <b>30</b>   | <b>13</b>   | <b>4</b> | <b>2.3</b>        |
| 文化財保存修復学科      |      | 4         | 4           | 2           | 2        | 2.0               |
| 歴史遺産学科         |      | 4         | 4           | 2           | 1        | 2.0               |
| 美術科            |      | 13        | 13          | 6           | 1        | 2.2               |
| 版画コース          |      | 2         | 2           | 1           | 0        | 2.0               |
| 彫刻コース          |      | 0         | 0           | 0           | 0        | -                 |
| 工芸コース          |      | 4         | 4           | 4           | 1        | 1.0               |
| テキスタイルコース      |      | 4         | 4           | 0           | 0        | -                 |
| 総合美術コース        |      | 3         | 3           | 1           | 0        | 3.0               |
| 文芸学科           |      | 9         | 9           | 3           | 0        | 3.0               |
| <b>デザイン工学部</b> |      | <b>55</b> | <b>55</b>   | <b>3</b>    | <b>0</b> | <b>18.3</b>       |
| プロダクトデザイン学科    |      | 11        | 11          | 0           | 0        | -                 |
| 建築・環境デザイン学科    |      | 7         | 7           | 1           | 0        | 7.0               |
| グラフィックデザイン学科   |      | 15        | 15          | 0           | 0        | -                 |
| 映像学科           |      | 13        | 13          | 0           | 0        | -                 |
| 企画構想学科         |      | 6         | 6           | 1           | 0        | 6.0               |
| コミュニティデザイン学科   |      | 3         | 3           | 1           | 0        | 3.0               |
| <b>全学計</b>     |      | <b>85</b> | <b>85</b>   | <b>16</b>   | <b>4</b> | <b>5.3</b>        |

※募集人員は一般選抜入試[後期・面接型]、共通テスト利用入試[2科目利用後期]を合算した人数。

※美術科日本画コース、美術科洋画コースは本試験での募集がありません。

## 全試験区分の総計

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数         | 受験者数<br>(a)  | 合格者数<br>(b) | 入学者数       | 受験倍率<br>(a) / (b) |
|----------------|------------|--------------|--------------|-------------|------------|-------------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>269</b> | <b>1,072</b> | <b>1,035</b> | <b>408</b>  | <b>279</b> | <b>2.5</b>        |
| 文化財保存修復学科      | 26         | 107          | 105          | 40          | 27         | 2.6               |
| 歴史遺産学科         | 32         | 99           | 94           | 48          | 31         | 2.0               |
| 美術科            | 169        | 731          | 703          | 266         | 177        | 2.6               |
| 日本画コース         |            | 109          | 108          | 59          | 37         | 1.8               |
| 洋画コース          |            | 206          | 203          | 68          | 49         | 3.0               |
| 版画コース          |            | 58           | 57           | 19          | 13         | 3.0               |
| 彫刻コース          |            | 44           | 43           | 19          | 13         | 2.3               |
| 工芸コース          |            | 118          | 111          | 53          | 29         | 2.1               |
| テキスタイルコース      |            | 75           | 66           | 18          | 12         | 3.7               |
| 総合美術コース        |            | 121          | 115          | 30          | 24         | 3.8               |
| 文芸学科           | 42         | 135          | 133          | 54          | 44         | 2.5               |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>324</b> | <b>1,738</b> | <b>1,691</b> | <b>440</b>  | <b>340</b> | <b>3.8</b>        |
| プロダクトデザイン学科    | 62         | 340          | 328          | 91          | 66         | 3.6               |
| 建築・環境デザイン学科    | 52         | 260          | 252          | 63          | 54         | 4.0               |
| グラフィックデザイン学科   | 68         | 436          | 421          | 91          | 72         | 4.6               |
| 映像学科           | 62         | 389          | 380          | 79          | 65         | 4.8               |
| 企画構想学科         | 50         | 196          | 195          | 59          | 51         | 3.3               |
| コミュニティデザイン学科   | 30         | 117          | 115          | 57          | 32         | 2.0               |
| <b>全学計</b>     | <b>593</b> | <b>2,810</b> | <b>2,726</b> | <b>848</b>  | <b>619</b> | <b>3.2</b>        |

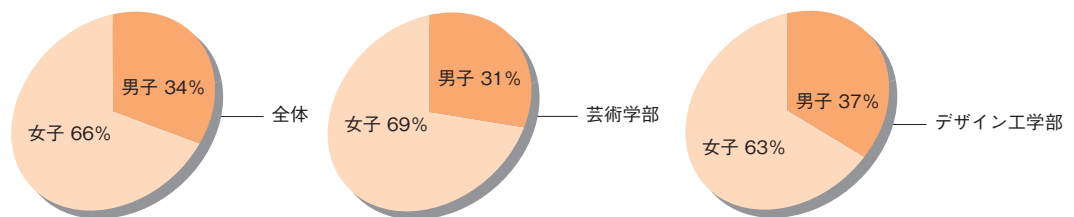
## 男女別結果(全試験区分の総計)

| 学部・学科          | 志願者          |              |              | 受験者          |              |              | 合格者        |            |            | 入学者        |            |            |
|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|                | 男            | 女            | 計            | 男            | 女            | 計            | 男          | 女          | 計          | 男          | 女          | 計          |
| <b>芸術学部</b>    | <b>336</b>   | <b>736</b>   | <b>1,072</b> | <b>327</b>   | <b>708</b>   | <b>1,035</b> | <b>119</b> | <b>289</b> | <b>408</b> | <b>87</b>  | <b>192</b> | <b>279</b> |
| 文化財保存修復学科      | 13           | 94           | 107          | 12           | 93           | 105          | 3          | 37         | 40         | 3          | 24         | 27         |
| 歴史遺産学科         | 42           | 57           | 99           | 41           | 53           | 94           | 25         | 23         | 48         | 19         | 12         | 31         |
| 美術科            | 220          | 511          | 731          | 214          | 489          | 703          | 70         | 196        | 266        | 47         | 130        | 177        |
| 文芸学科           | 61           | 74           | 135          | 60           | 73           | 133          | 21         | 33         | 54         | 18         | 26         | 44         |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>743</b>   | <b>995</b>   | <b>1,738</b> | <b>722</b>   | <b>969</b>   | <b>1,691</b> | <b>159</b> | <b>281</b> | <b>440</b> | <b>124</b> | <b>216</b> | <b>340</b> |
| プロダクトデザイン学科    | 166          | 174          | 340          | 161          | 167          | 328          | 48         | 43         | 91         | 33         | 33         | 66         |
| 建築・環境デザイン学科    | 132          | 128          | 260          | 128          | 124          | 252          | 30         | 33         | 63         | 26         | 28         | 54         |
| グラフィックデザイン学科   | 155          | 281          | 436          | 149          | 272          | 421          | 25         | 66         | 91         | 23         | 49         | 72         |
| 映像学科           | 183          | 206          | 389          | 178          | 202          | 380          | 25         | 54         | 79         | 20         | 45         | 65         |
| 企画構想学科         | 63           | 133          | 196          | 62           | 133          | 195          | 14         | 45         | 59         | 13         | 38         | 51         |
| コミュニティデザイン学科   | 44           | 73           | 117          | 44           | 71           | 115          | 17         | 40         | 57         | 9          | 23         | 32         |
| <b>計</b>       | <b>1,079</b> | <b>1,731</b> | <b>2,810</b> | <b>1,049</b> | <b>1,677</b> | <b>2,726</b> | <b>278</b> | <b>570</b> | <b>848</b> | <b>211</b> | <b>408</b> | <b>619</b> |

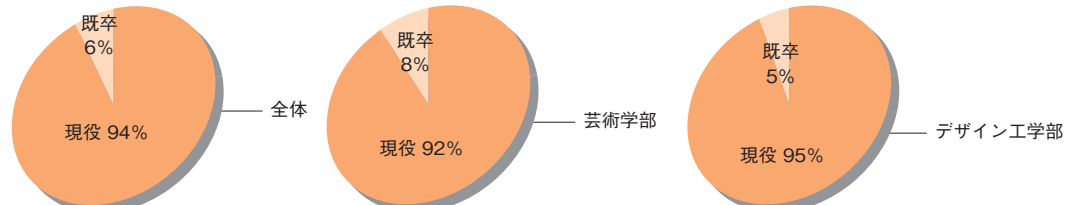
## 現役既卒別結果(全試験区分の総計)

| 学部・学科          | 志願者          |            |              | 受験者          |            |              | 合格者        |           |            | 入学者        |           |            |
|----------------|--------------|------------|--------------|--------------|------------|--------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|
|                | 現役           | 既卒         | 計            | 現役           | 既卒         | 計            | 現役         | 既卒        | 計          | 現役         | 既卒        | 計          |
| <b>芸術学部</b>    | <b>903</b>   | <b>169</b> | <b>1,072</b> | <b>877</b>   | <b>158</b> | <b>1,035</b> | <b>347</b> | <b>61</b> | <b>408</b> | <b>258</b> | <b>21</b> | <b>279</b> |
| 文化財保存修復学科      | 84           | 23         | 107          | 83           | 22         | 105          | 34         | 6         | 40         | 23         | 4         | 27         |
| 歴史遺産学科         | 93           | 6          | 99           | 89           | 5          | 94           | 46         | 2         | 48         | 31         | 0         | 31         |
| 美術科            | 600          | 131        | 731          | 581          | 122        | 703          | 215        | 51        | 266        | 160        | 17        | 177        |
| 文芸学科           | 126          | 9          | 135          | 124          | 9          | 133          | 52         | 2         | 54         | 44         | 0         | 44         |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>1,553</b> | <b>185</b> | <b>1,738</b> | <b>1,510</b> | <b>181</b> | <b>1,691</b> | <b>411</b> | <b>29</b> | <b>440</b> | <b>324</b> | <b>16</b> | <b>340</b> |
| プロダクトデザイン学科    | 299          | 41         | 340          | 288          | 40         | 328          | 82         | 9         | 91         | 60         | 6         | 66         |
| 建築・環境デザイン学科    | 238          | 22         | 260          | 230          | 22         | 252          | 61         | 2         | 63         | 52         | 2         | 54         |
| グラフィックデザイン学科   | 386          | 50         | 436          | 372          | 49         | 421          | 84         | 7         | 91         | 69         | 3         | 72         |
| 映像学科           | 337          | 52         | 389          | 330          | 50         | 380          | 73         | 6         | 79         | 63         | 2         | 65         |
| 企画構想学科         | 187          | 9          | 196          | 186          | 9          | 195          | 57         | 2         | 59         | 49         | 2         | 51         |
| コミュニティデザイン学科   | 106          | 11         | 117          | 104          | 11         | 115          | 54         | 3         | 57         | 31         | 1         | 32         |
| <b>計</b>       | <b>2,456</b> | <b>354</b> | <b>2,810</b> | <b>2,387</b> | <b>339</b> | <b>2,726</b> | <b>758</b> | <b>90</b> | <b>848</b> | <b>582</b> | <b>37</b> | <b>619</b> |

入学者構成比  
(男女別)



入学者構成比  
(現役・既卒別)



## 都道府県別結果(全試験区分の総計)

| 地方  | 都道府県名 | 志願者数  | 受験者数  | 合格者数 | 入学者数 |
|-----|-------|-------|-------|------|------|
| 北海道 | 北海道   | 137   | 133   | 34   | 26   |
| 東北  | 青森県   | 101   | 98    | 26   | 19   |
|     | 岩手県   | 185   | 180   | 57   | 42   |
|     | 宮城県   | 654   | 643   | 171  | 135  |
|     | 秋田県   | 91    | 80    | 15   | 13   |
|     | 山形県   | 491   | 476   | 181  | 153  |
|     | 福島県   | 247   | 247   | 88   | 64   |
|     | 東北計   | 1,769 | 1,724 | 538  | 426  |
| 関東  | 茨城県   | 116   | 110   | 35   | 26   |
|     | 栃木県   | 119   | 119   | 36   | 17   |
|     | 群馬県   | 64    | 52    | 12   | 4    |
|     | 埼玉県   | 56    | 53    | 17   | 9    |
|     | 千葉県   | 59    | 59    | 21   | 13   |
|     | 東京都   | 54    | 54    | 16   | 8    |
|     | 神奈川県  | 28    | 28    | 13   | 9    |
|     | 関東計   | 496   | 475   | 150  | 86   |
| 中部  | 新潟県   | 140   | 139   | 40   | 28   |
|     | 富山県   | 3     | 3     | 0    | 0    |
|     | 石川県   | 4     | 4     | 0    | 0    |
|     | 福井県   | 3     | 3     | 0    | 0    |
|     | 山梨県   | 15    | 11    | 1    | 1    |
|     | 長野県   | 65    | 62    | 23   | 14   |
|     | 岐阜県   | 1     | 1     | 1    | 0    |
|     | 静岡県   | 29    | 26    | 7    | 4    |
|     | 愛知県   | 15    | 15    | 7    | 4    |
|     | 三重県   | 1     | 1     | 1    | 1    |
|     | 中部計   | 276   | 265   | 80   | 52   |

| 地方 | 都道府県名 | 志願者数  | 受験者数  | 合格者数 | 入学者数 |
|----|-------|-------|-------|------|------|
| 近畿 | 滋賀県   | 3     | 3     | 1    | 1    |
|    | 京都府   | 0     | 0     | 0    | 0    |
|    | 大阪府   | 3     | 3     | 2    | 2    |
|    | 兵庫県   | 3     | 3     | 1    | 1    |
|    | 奈良県   | 1     | 1     | 0    | 0    |
|    | 和歌山県  | 0     | 0     | 0    | 0    |
|    | 近畿計   | 10    | 10    | 4    | 4    |
| 中国 | 鳥取県   | 1     | 1     | 1    | 1    |
|    | 島根県   | 2     | 2     | 2    | 0    |
|    | 岡山県   | 7     | 7     | 4    | 3    |
|    | 広島県   | 4     | 4     | 2    | 1    |
|    | 山口県   | 6     | 6     | 2    | 1    |
|    | 中国計   | 20    | 20    | 11   | 6    |
| 四国 | 徳島県   | 3     | 3     | 1    | 1    |
|    | 香川県   | 1     | 1     | 1    | 1    |
|    | 愛媛県   | 1     | 1     | 0    | 0    |
|    | 高知県   | 0     | 0     | 0    | 0    |
|    | 四国計   | 5     | 5     | 2    | 2    |
| 九州 | 福岡県   | 0     | 0     | 0    | 0    |
|    | 佐賀県   | 0     | 0     | 0    | 0    |
|    | 長崎県   | 10    | 7     | 3    | 1    |
|    | 熊本県   | 7     | 7     | 1    | 1    |
|    | 大分県   | 6     | 6     | 0    | 0    |
|    | 宮崎県   | 0     | 0     | 0    | 0    |
|    | 鹿児島県  | 4     | 4     | 0    | 0    |
|    | 沖縄県   | 40    | 40    | 13   | 6    |
|    | 九州計   | 67    | 64    | 17   | 8    |
| 検定 |       | 22    | 22    | 6    | 5    |
| 海外 |       | 8     | 8     | 6    | 4    |
| 合計 |       | 2,810 | 2,726 | 848  | 619  |

入学者構成比(都道府県別)

北海道 26名 4.2%

東北 426名 68.8%

中部 52名 8.4%

中国・四国 8名 1.3%

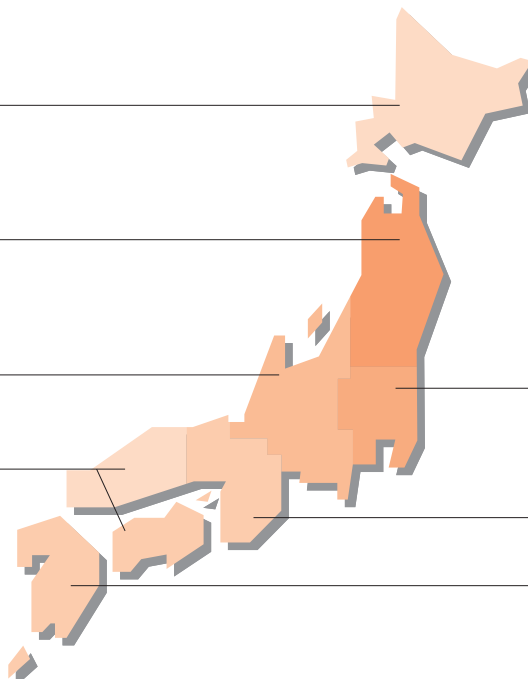
検定等 5名 0.8%

海外 4名 0.65%

関東 86名 13.9%

近畿 4名 0.65%

九州 8名 1.3%



## 志願者出身高校一覧(全試験区分)

| 北海道                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 札幌北陵、札幌白石、岩見沢東、南富良野、おといねっぶ美術工芸、室蘭栄、室蘭清水丘、釧路湖陵、中標津、北広島、札幌平岸、札幌厚別、石狩南、北広島西、札幌平岡、紋別、函館、札幌開成、立命館慶祥、藤女子、札幌大谷、函館ラ・サール、小樽双葉、北海道大谷室蘭、クラーク記念国際 |

| 青森県                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------|
| 青森西、青森東、青森南、弘前、弘前中央、弘前南、八戸、八戸東、八戸北、五所川原、田名部、三本木農業、弘前工業、弘前学院聖愛、青森明の星、八戸工業大学第二 |

| 岩手県                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 盛岡第一、盛岡第三、盛岡第四、盛岡北、杜陵、盛岡工業、花巻北、黒沢尻北、北上翔南、水沢、水沢工業、前沢、金ヶ崎、一関第一、一関第二、高田、大船渡、遠野、宮古、福岡、盛岡市立、不来方、岩手、盛岡白百合学園、盛岡中央、一関学院 |

| 宮城県                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 仙台高専、仙台第一、仙台第二、仙台第三、仙台向山、古川、角田、築館、佐沼、白石、石巻、塩釜、名取、泉、多賀城、宮城第一、仙台二華、仙台三桜、石巻好文館、石巻北、松島、小牛田農林、柴田農林、工業、大河原商業、仙台南、仙台、仙台工業、名取北、泉松陵、仙台北、泉館山、宮城広瀬、利府、石巻西、柴田、仙台東、富谷、宮城野、仙台青陵、仙台商業、美田園、気仙沼、仙台育英学園、東北、東北学院、東北学院榴ヶ岡、宮城学院、仙台白百合学園、尚綱学院、常盤木学園、聖和学園、東北生活文化大学、仙台大学附属明成、聖ウルスラ学院英智、聖ドミニコ学院、仙台南、古川学園、東陵、飛鳥未来きずな |

| 秋田県                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 秋田、秋田南、秋田工業、花輪、大館鳳鳴、能代、本荘、由利、大曲、大曲農業、角館、増田、秋田明徳館、秋田中央、秋田西、新屋、横手清陵学院、湯沢翔北、能代松陽、ノースアジア大学明桜 |

| 山形県                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 山形東、山形南、山形西、山形北、山形工業、山形中央、山形市立商業、天童、山辺、寒河江、寒河江工業、谷地、左沢、東桜学園、新庄北、新庄南、米沢興譲館、米沢東、米沢工業、米沢商業、高畠、長井、長井工業、荒砥、小国、鶴岡南、鶴岡北、鶴岡工業、酒田東、酒田西、南陽、上山明新館、霞城学園、鶴岡中央、新庄神室産業、酒田光陵、村山産業、山形城北、山形学院、日本大学山形、創学園、山本学園、東海大学山形、新庄東、九里学園、米沢中央、羽黒、和順館 |

| 福島県                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 福島工業高専、福島（県立）、橘、福島西、福島商業、福島明成、福島工業、安達、安積、安積黎明、郡山東、須賀川、須賀川桐陽、白河、白河旭、田村、会津、葵、会津工業、喜多方、西会津、只見、磐城、磐城桜が丘、好間、相馬、相馬東、原町、あさか開成、郡山北工業、郡山、福島東、いわき光洋、光南、郡山萌世、修明、福島（私立）、福島成蹊、聖光学院、郡山女子大学附属、尚志、日本大学東北、東日本国際大学附属昌平、会津若松ザベリオ学園、いわき秀英 |

| 茨城県                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日立第一、日立商業、太田第一、水戸第二、水戸第三、笠間、竜ヶ崎第一、藤代、下館第二、下妻第一、水海道第一、竹園、牛久、日立北、取手松陽、古河、太田西山、明秀学園日立、茨城、水城、東洋大学附属牛久、水戸葵陵、鹿島学園、翔洋学園、第一学院（高萩校）、ルネサンス、S |

| 栃木県                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宇都宮南、宇都宮女子、宇都宮中央女子、宇都宮工業、鹿沼、小山、栃木女子、佐野、足利、足利女子、真岡女子、茂木、大田原女子、那須拓陽、黒磯、矢板東、高根沢、宇都宮北、鹿沼東、さくら清修、栃木翔南、作新学院、宇都宮短期大学附属、日々輝学園、佐野日本大学中等教育学校 |

| 群馬県                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 前橋女子、伊勢崎清明、渋川、吉井、利根商業、高崎経済大学附属、伊勢崎、安中総合学園、四ツ葉学園、桐生、共愛学園、高崎商科大学附属、前橋育英、高崎健康福祉大学高崎、明和県央 |

| 埼玉県                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 筑波大学附属坂戸、熊谷、川越女子、小川、越谷北、豊岡、越生、新座総合技術、伊奈学園総合、大宮光陵、芸術総合、細田学園、本庄東、東京成徳大学深谷、埼玉米、浦和学院、国際学院 |

| 千葉県                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 千葉女子、八千代、松戸（県立）、松戸南、我孫子、佐倉、匝瑳、東金、長生、君津、磯辺、市川東、松戸馬橋、柏中央、千葉英和、千葉学芸、二松学舎大学附属柏、東京学館、市原中央、東京学館船橋、木更津総合 |

### 東京都

東京大学教育学部附属、工芸、文京、町田、向丘、芦花、小金井北、八王子桑志、錦城学園、駒込、順天、日本大学第一、安田学園、立正大学付属立正、大東学園、日本工業大学駒場、和光、女子美術大学付属、大東文化大学第一、富士見、工学院大学附属、八王子学園八王子

### 神奈川県

光陵、横須賀大津、追浜、七里ガ浜、藤沢西、小田原、西湘、茅ヶ崎北陵、伊勢原、大磯、上矢部、元石川、横浜明朋、相模原弥栄、桐蔭学園、向上

### 新潟県

新潟中央、新潟南、新潟江南、新潟西、新潟工業、新潟商業、巻、新発田、村上、村上桜ヶ丘、中条、新津、五泉、長岡、長岡工業、見附、三条東、小千谷、柏崎、高田、高田北城、上越総合技術、海洋、新発田南、長岡向陵、村上（中等教育）、新潟翠江、燕、高志、北越、中越、関根学園、長岡英智、開志国際

### 富山県

入善、魚津

### 石川県

小松明峰

### 福井県

羽水

### 山梨県

甲府第一、富士河口湖、駿台甲府、山梨学院

### 長野県

須坂、長野吉田、長野（県立）、長野西、長野東、屋代、岩村田、野沢北、諏訪清陵、松本深志、長野南、長野（市立）、大町岳陽、松本第一、長野清泉女学院、長野日本大学、佐久長聖、エクセラン

### 岐阜県

加納

### 静岡県

伊東、沼津西、富士宮東、静岡、焼津中央、静岡中央、静岡聖光学院、藤枝順心、誠恵

### 愛知県

旭丘、昭和、豊丘、向陽、東邦、愛知工業大学名電、星城

### 三重県

青山

### 滋賀県

近江兄弟社

### 大阪府

港南造形、関西大学北陽

### 兵庫県

明石

### 奈良県

飛鳥未来

### 鳥取県

青翔開智

### 島根県

平田

### 岡山県

津山東、勝山、林野

### 広島県

広島大学附属、A I C J

### 山口県

豊浦、慶進

### 徳島県

徳島市立

### 香川県

善通寺第一

### 愛媛県

未来

### 長崎県

長崎西、諫早、波佐見、長崎日本大学

### 熊本県

勇志国際

### 大分県

岩田

### 鹿児島県

屋久島おおぞら

### 沖縄県

首里、浦添工業、開邦、那覇国際、ヒューマンキャンパス、N

# 総合型選抜入学試験

## [専願体験型]

東北芸術工科大学の総合型選抜入学試験[専願体験型]は、一般的な大学入試のように「機械的に点数の低い受験者を落とす」だけの選抜型とは全く異なり、大学と受験生の相互理解を深め、通常の入試では評価されにくい受験生自身の魅力を評価するものです。選考の際は、アドミッション・ポリシー（大学側の求める学生像や受験生の受け入れ方針）やカリキュラムなどを理解していただき、ワークショップや体験授業に参加いただきます。その際に学ぼうとする意欲や取り組む姿勢、大学教育を受けるために必要な基礎的な学力、思考力、判断力、表現力や協調性など、個々の幅広い魅力と能力を見い出します。加えて、面接を通してあなたが持つたくさんの可能性も評価します。これらを通して、受験時点での実力だけでなく、多角的な視点で受験生一人ひとりと向き合い、選考する点が大きな特徴です。

※事前課題や提出物はありません。

また、本入試では面接時にファイル等の資料や作品を持ち込むことはできません。

※試験の詳細については、必ず2023年度学生募集要項をご確認ください。



# 2023年度 学科・コース別 試験予定内容一覧(予定)

※変更が生じる場合がありますので、受験の際は、必ず「2023年度学生募集要項」および大学 HP をご確認ください。

## 芸術学部

### 文化財保存修復学科

#### ①体験授業

文化財保存修復に関するミニ講義を受講した後、ミニレポートを提出する

#### ②面接



### 歴史遺産学科

#### ①体験授業(模擬授業とグループディスカッション)

- ・模擬授業にて身近で具体的な歴史遺産(考古遺跡や伝統的建造物など)をひとつ取り上げ、教員が説明を行う
- ・7～8名程度のグループに分かれ、上記歴史遺産の活用を話し合う

- ・講義の感想とグループで話したことを講義ノート(A4一枚程度)としてまとめ、面接冒頭に3分程度で話す

#### ②面接



## 美術科 日本画コース

### ①体験授業(日本画の写生体験)

決められたエリア内(屋内)で、各自写生を行う

### ②上記体験授業を通じて感じたこと、考えたことを文章化し、振り返りシートの提出する



### ③面接(1グループ2～3人で行う)



## 美術科 洋画コース

### ①体験授業(静物油彩)

油彩制作におけるポイントレクチャーを行い、その後モチーフを組み各自油彩制作を行う



### ②面接

当日制作した作品をもとにグループでのミニ講評会を兼ねる



## 美術科 版画コース

### ①体験授業（イラストレーション制作or自画像デッサン制作）

当日にイラストレーション、自画像デッサンのいずれかを選択し制作を行う

[イラストレーション制作] イラストレーション制作における事前レクチャーを行い、各自自由にテーマを設定しイラストレーションの制作を行う

[自画像デッサン制作] 自画像デッサン制作における事前レクチャーを行い、鉛筆による自画像デッサンを行う

### ②ミニ講評会

体験授業終了後ミニ講評会を実施し、体験授業を通じて気づいたことをミニレポートに書く

### ③面接



※掲載写真は（在学生による）体験授業のイメージです。

## 美術科 彫刻コース

### ①体験授業（彫刻制作体験）

大学周辺を散策し、収集した自然物やスケッチをもとに各自が自由な発想で粘土を使って立体作品を制作する

### ②振り返り

制作物の意図や感想を発表する

### ③面接



## 美術科 総合美術コース

### ①体験授業（アートワークショップ体験）

アートワークショップを体験後、それを活用したイベント企画をグループで考え発表する



### ②面接



## 工芸デザイン学科（2023年4月新設）※旧美術科工芸コース・テキスタイルコース

### ①体験授業（立体＆平面制作体験）

立体・平面制作の基礎を学ぶ。立体制作では与えられた紙造形を基本とし条件に沿って制作し、平面制作では配色デザインを行う

デザイン完成後は一人ずつテーマと工夫した点を発表する



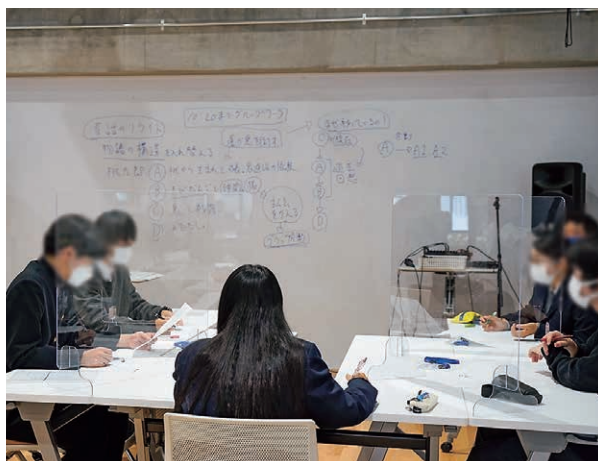
### ②面接



## 文芸学科

### ①体験授業

教員による説明を経て、グループ単位で昔話をリライト(書き換え)する体験型演習を受けながらグループ単位でリライトに挑戦する



### ②作文

①で行ったグループワークについて執筆する(600字程度)

### ③面接



## デザイン工学部

### プロダクトデザイン学科

#### ①体験授業

身のまわりのモノの機能や形態を観察し、その理由を考える。前半のグループワークではそれらの優れた点や改善すべき点を共有し、後半の個人ワークでは、対象となるモノの応用展開例を提案する



#### ②面接



### 建築・環境デザイン学科

#### ①体験授業

建築、まち、自然や環境問題に関するミニ講義を受講後、講義に対する自身の意見をミニレポートにまとめる



#### ②面接



## グラフィックデザイン学科

### ①体験授業

デザインに関する模擬授業を受けた後、その内容を基にグループで発表を行う



### ②面接



## 映像学科

### ①体験授業（創作体験）

提示する1つのキーワードから独自の映像作品をイメージし、その世界観をアイデアスケッチと文章（600字以内）で表現する



### ②面接



## 企画構想学科

### ①体験授業

#### ・ミニ講義

課題解決型ワークショップの進め方に関する講義を受講する

#### ・課題解決型ワークショップ

提示された課題に対して、グループに分かれて企画を

考え発表を行う

#### ・振り返りシート

ミニ講義とワークショップを振り返り、整理した内容を記入する

### ②面接



## コミュニティデザイン学科

### ①体験授業

- ・課題解決型ワークショップで取り扱う対象地域、特徴、地域で起こっている社会的課題の講義を受講する
- ・地域の社会課題を解決し、SDGsに寄与する社会を実現するモノ・コトをグループで話し合う

・グループで考えたアイデアをグループごとに発表する

・自身の気づきや考えについてレポートを作成する（振り返り）

### ②面接





# 実技

小論文 / デッサン / 水彩画 / 油彩画



|            |                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出題内容       | 指定の出題テーマに沿って提示された文章(著作物・新聞記事・コラム等)を読み、その内容に触れつつ自分の考えを600〜800字で述べる                                                                                                                                                                |
| テーマ        | 「社会と人間」(全入試共通)                                                                                                                                                                                                                   |
| 評価のポイント    | 「思考力・判断力・表現力」を評価するため以下のポイントを重視する<br>文章力：単なる読みやすい文章だけではなく、論理的な文章を書けているか<br>読解力：課題文で書かれている主題をきちんと理解し、自らの意見を書けているか<br>構成力：自分の都合のいいように、強引に理屈をこじつけるような説を述べるのではなく、課題文との連続性の中で文章を書けているか<br>論理展開力：自らの感想や体験にととまらない普遍的な視点により、論理的な考察を行えているか |
| 大学で用意するもの  | 解答用紙(原稿用紙縦書き)、下書き用紙(A3、2枚)                                                                                                                                                                                                       |
| 受験者が用意するもの | 鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り                                                                                                                                                                                                          |

※2023年度の出題概要は、「2023年度学生募集要項」をご確認ください。

### ●アドバイス

小論文は感想文ではありません。書き手が思ったことを素直に書いても、それは感想文にしかありませんし、ましてや誰かの顔色をうかがうような「〇〇はしてはいけないと思います」のような心地よい終わり方をする文章は小論文ではありません。

そうならないために必要な力の一つ目は文章力です。「あーそーゆーことね」と思ったあなた、それは多分違います。わかりやすく読みやすい文章を書くのは当然のことです。入試だからといって特別、要求されるものではありません。そうではなく自らの言いたいことを論理的に伝えるための文章力です。自らの主張のためにどのような語句を使えば良いのか。一文内の構成だけではなく、段落内の文章構成、さらには段落ごとの全体構成も含めて考える必要があります。

二つ目は読解力です。例えば課題文で「白米の美味しさ」について述べられているとしましょう。これに対して「ライスペーパーの便利さ」を書いたとしたら、課題文のテーマからは大幅にずれていることになります。もちろん同じ「米」について書いているため、解答者自身は関連する意見を述べている感覚に陥っているのはわかります。しかし課題文の主題を見失っていると読み取れます。

三つ目は構成力になります。「白米の美味しさ」という課題文に対し、「美味しい」「不味い」という対立軸を勝手に構成し、片方の立場で意見を述べるのはベストな選択で

はありません。なぜならまず課題文にその二項対立が書かれているかどうかの確認が必要です。また賛成や反対は誰でもできることで、そこに書き手の力はあまり必要ありません。何より対象に対する思想が二つしかないのは、極めて窮屈な考えです。そうではなく単なる対立軸を越えて、自らの意見を述べる力が試されます。そのためには課題文を踏まえ、自らの意見を論理的に構成し、説得力のある内容を練り上げることになります。

最後は論理展開力になります。感想文にならないためには、客観的な情報をよりどころにした論理的な思考を行い、それらの情報により自らの意見や思想を実証していく必要があります。そのためには数多くの本を読み、ニュースに触れ、知識を増やし、自らの身体での体験・経験をしていかなければなりません。ここで陥りがちなのは、自らの体験をただ書くだけで論理的な主張になると思いつくことです。もちろん皆さんの経験は皆さんの経験として重要です。でも別の人が同じ事象を経験しても、正反対の感慨を抱く可能性もあります。つまり個人の体験を普遍化するためには論理的な力が必要になります。

文章を書く訓練、そのために必要な情報の取得を常日頃から取り組むため、小論文を書く力は一朝一夕で身につくものではありません。逆にいえば皆さんがこれまで生きてきて経験したこと、知識として吸収したことが直接的に表れてきます。その多様な知識に裏打ちされた多様な感性は、入学後も必ず活かされます。

# 総合型選抜入学試験〔併願型〕

## 問題

以下の文章は、西田正規『人類史のなかの定住革命』（講談社／2007年）からの抜粋です。  
この文章を読み、「社会と人間」をテーマに自分の考えを、600字〜800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

不快なものには近寄らない、危険であれば逃げていく。この単純きわまる行動原理こそ、高い移動能力を発達させてきた動物の生きる基本戦略である。

しかし、快なる場所に集まる動物は、そのためしだいに多くなり、ついに、あまりに多くなってしまうと、この楽園の食料も乏しくなり、そして排泄物に汚れた不快な場所になるだろう。侵入してくる他の動物を追いついて縄張りを主張することも、また多くの動物社会に見られることである。

サルや類人猿たちは、あまり大きくない集団を作り、一定の遊動域のなかを移動して暮らしている。集団を大きくせず遊動域を防御することで、個体密度があまりに増加するのをおさえ、そして頻繁に移動することによって環境の過度な荒廃を防ぎ、食べ物にありつき、危険から逃れるのである。このようにして霊長類は、数千万年にもわたって自らの生きる場を確保してきたのである。

霊長類が長い進化史を通じて採用してきた遊動生活の伝統は、その一員として生まれた人類にもまた長く長く受け継がれた。定住することもなく、大きな社会を作ることもなく、稀薄な人口密度を維持し、したがって環境が荒廃することも汚物にまみれることもなく、人類は出現してから数巨万年を生き続けてきたのである。

だが、今、私たちが生きる社会は、膨大な人口をかかえながら、不快があつたとしても、危険が近づいたとしても、頑として逃げ出そうとはしないかのようなのである。生きるためにこそ逃げる遊動者の知恵は、この社会ではもはや顧みられることもない。

遊動生活者であるファイリビンのネグリートのキャンプを訪問した時のある日、強い雨が降り、水位を増した流れがキャンプのそばまでやってきた。水を見ていた人たちが、それを危険と判断して皆に知らせながら、持ち物の一切と、子どもやヤシの葉で作った屋根がわりの纏み物、燃える火と薪を持って安全な近くの高台に移動するのには、ほんの四五分もかかただろうか。彼らは自然の偉大な力でさえも、ほんの数分の手間をかけるだけで軽くいなしてしまつた。

ある時から人類の社会は、逃げる社会から逃げない社会へ、あるいは、逃げられる社会から逃げられない社会へと、生き方の基本戦略を大きく変えたのである。この変化を「定住革命」と呼んでおこつ。およそ二万年前、ヨーロッパや西

アジア、そしてこの日本列島においても、人類中における最初の逃げない社会が生まれた。

逃げない社会のなかにあつても、人々が逃げる衝動を完全に失つたわけではないだろう。定住社会の隙を縫ってすり抜けるノマド（遊動民）たちは、その後も絶えたことはなく、また、定住社会における不満の蓄積は、しばしばノマドへの羨望となつて噴出する。だからこそ定住社会は、ノマドの衝動をひたすら隠し、わけもなくノマドたちに蔑視のまなざしを投げ、否定し続けてきたのであろう。

人類がノマドとして生まれたことからして、あるいはノマドとして生きた時間の深さからして、その生き方は人類の体内の深くに染み入っているにちがいない。だが、たとえノマドへの衝動を持つにしても、すでにこの社会の人類が定住者としてしか生きられないこともまた明らかである。だとすれば、この社会がなすべきことは、ノマドの否定でも蔑視でもないはずである。定住することによって失つたものにも想いを馳せねばならない。ノマドの生き方とその歴史に向かい合う時がきた。

## 参考解答

## 逃げと余裕

かつて人類は不快なものに近寄らず、危険であれば逃げる、という基本戦略を用いていた。しかし現在において基本戦略は「逃げを許さない」に大きく変化した。

現在「生きるために逃げる」という選択肢がとられることは稀だ。

今の社会は総じて逃げる人や、逃げるという行為自体に厳しい。どんなに仕事や学校が辛くてもそこから逃げれば強い非難を受ける。

なぜ社会はそれほど「逃げ」を許さないのだろうか。

日常生活に目を向けてみると、我々人間は忙しい。常に何かに追われ、働いている。常に何かに追われるというのは人の心身に大きなストレスをもたらす。

このように現代社会に生きる人間には「心の余裕」がない。皆どこかで「逃げたい」と思っている。だけど逃げられない。それ故に「逃げる」という選択をした人間を非難し、蔑視してしまう。

かつて私もそうだった。私は高校三年まで吹奏楽部に所属していた。活動は基本不定休で、練習時間は長く厳しい。誰もが口には出さないが「辞めたい」と思っていた。だから実際に辞めていった仲間に対してどこか恨む気持ちがあった。

人間は自身に心の余裕がなければ人には優しくできない。また自分も苦しい状況にあるのに他人がそれから開放されるのは許せない。

本来、逃げるという行為は悪いことではない。むしろ逃げずに、逃げられずに過労死、自殺をしてしまう方が問題だ。

現代の余裕がない社会において、生きる為に逃げるという選択は必要だ。しかしそのためにはノマドの歴史を知ること大切だが、まずは社会全体が「余裕」を持てるような仕組みが必要なのではないだろうか。

## 評価ポイント

参考解答は、まず人間社会における現状の分析から心の「余裕」というキーワードを得て、さらに絶望で体験した葛藤から「逃げる」ことの是非を問うて「余裕」と結びつけて論じ、「逃げと余裕」をタイトルとしてまとめています。このように課題文に示される「定住革命」を読み解き、自らの体験に基づいた論考を素直に進めて展開している点が評価されます。

## 参考解答

## 定住社会における他者との共生

私は現代人が今も遊動を続けていると考える。現代において、人々は逃げることを止めて、巨大な定住社会を作り出した。しかし、それは住居の話である。今の社会において、人々がより強いこだわりを持つようになったものは「心の住居」ではないだろうか。例えば現代のインターネット社会では、簡単に共通の趣味を持つ人と出会うことができ、そのコミュニティに安住することができる。こういった集団は、人数が少ないほど人目につかず、彼らの価値観は否定されることはない。ところが数が膨れ上がり、より多様な考えが混在するようになれば意見はすれ違い、コミュニティの質は落ちて、その住人は別の住みやすい住居を探さだろう。このように人々は、精神世界においては今でも、常に快なる場所を探し続ける遊動生活者のままである。

しかし、このような人々の精神にとって都合の良い社会は、現実の生活の質を落としていく。ネットの中では、自身の性別や声、性格などを気にせず会話することができる。だがその結果、ネット社会の人格と現実世界の人格はかけ離れていき我を忘れていくだろう。果たしてそこに充実した人生はあるのだろうか、いやあるわけがない。生活の充実とは、他者との、直接的な関わりの中にあり、そこから自分という存在を認識して、自分の価値を見出していくものだからだ。

また、他者に支えながら生きているという感覚を失わせた原因は定住にあるだろう。ノマドは他者との共生を常に考えていたのだろう。そのこだわりは、現代人の生活に必要なだ。

今ある政治や環境の問題や国際問題を他人事のように思っ生きていくことは間違いだ。それらを見直し続けなければいつか自分に降りかかってくるだろう。定住が生んだ一時的な安心感から目覚め、現実社会においてより深く、他者に関わり共生していく術を求めて遊動する。それがノマドから得られる大きな学びであると私は考える。

## 評価ポイント

参考解答は、人類が遊動の歴史を経て現在の定住に至るという課題文の論旨を否定していることから書き出されていますが、その内容を否定しているわけではなく、現実に対する考察により、「心の住居」というインターネット社会での居場所を求める様相を見出し、遊動の必要性を論じています。このように課題文に接して現実の状況に問いかけながら、わかりやすく記述している点が評価されます。

## 一般選抜入学試験〔前期・専願型〕

## 大学入学共通テスト利用入学試験〔1科目利用〕

## 問題

以下の文章は、真辺将之『猫が歩いた近現代』（吉川弘文館／2021年）からの一部抜粋です。  
この文章を読み、「社会と人間」をテーマに自分の考えを、600字～800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

猫の現代は近代の変異であると同時に近代の延長線上に位置するものでもある。キヤットフードやおもちや、医薬品など、あらゆるものは消費社会と合理化のなかで生産されている。その合理化の延長線上には、管理化という動きも存在する。避妊・去勢手術や、マイクロチップの埋め込み、あるいは金銭での猫の売買などを考えてみるがよい。もし人間の家族に対して同じことをすれば、我々はどのような感情を抱くであろうか。その意味で、猫は「家族」の一員でありつつ、しかし扱いはやはり人間とは異質なものである。しかし、こうした管理を、我々はいつまで異質なものとして見ることが可能であろうか。今後、人間が同様に管理される社会が、到来しないとも限らない。猫の現代は、人間の現代を先取りしている可能性すらある。水俣病の際に、人間に先立って猫が病を発症したように。

こうした管理のあり方を捉えて、結局、人間は自分の欲望のために、猫を家族のように扱って利用しているだけではないか、と問うことも可能であろう。ただし、この問いはそれを反転させることも可能である。つまり、管理化や消費社会のなかにありつつ、それでもなお、我々は猫を愛し、守られるべき存在だと思っている、というように。問題は、管理や消費、人間の欲望が介在しているか否かではなく、その結果として追求されるものが、人間のみの幸せなのか、それとも猫自体の幸せをも目的とするものなのか、ということである。そしてこれこそ、近代と現代との無視できないきわめて大きな差異なのではないか。社会のシステムに絡め取られていることの自覚は必要だが、しかし我々も猫も、そのシステムを離れては存在しえないのだとすれば、そのシステムの制約のなかで、微調整を続け、試行錯誤を重ねながら双方の幸福度を上げていくことしか、問題に対処する方法はない。

もちろん、猫は言葉を発しない。選択肢を提示して、どちらかを選べ、ということもできない。だからこそ、人間は、人間と猫の幸福を追求しようとするのであれば、猫の幸せが究極的には知れないものであることを自覚し、自己を絶対視せず、自らの行為が、果たして本当に猫を、そして人間を幸せにできているのかどうかを常に批判的に検討するのであれば、独りよがりには陥つてしまうおそれがある。

なお無視してならないのは、猫の「家族」化、「社会の一員」化するものが、現実の家族の空洞化や、社会の空洞化と

も表裏一体であることである。社会の複雑化と他者に対する不信感のなかで、唯一信頼できる相手として猫を愛する人もいる。また大家族はもちろん、近代的な核家族すら減少・変容していきながら、猫が「家族」とされるようになったことは、きわめて逆説的だが、決して偶然ではない。社会や家族が人間だけのものであるという自明性が解体し、見ず知らずの他人よりも自分の猫の方がかけがえのない存在に思えるという精神状況こそが、猫を「家族」の、そして「社会」の一員たらしめている。変容する「家族」や「社会」こそが、猫をその一員たらしめているのである。

他人の顔が見えないままに、同じ社会を生活しているとは思えないほどに隔絶した思考を抱く人々が増えていくのも、現代社会の特質である。その隔絶は猫に対する考え方においても生じている。そうしたなかでは猫の現代化が進むと同時に、その「完結」も容易ではなく、それ自体が新たな問題を生み出していくことにもなる。それが単に好き嫌いの問題であるのならはまだよいが、近年では、野生生物に対する「フネコ（注1）」による被害など、単なる好き嫌いに還元しえない問題も存在する。

（注1）「フネコ」：イエネコが野生化したもの。人間の生活圏で餌をもらいながら生きる「フネコ」と違い、人間からは独立し、小動物などを襲い、自生している。

## 参考解答

## 社会と感情の循環

課題文では、猫の現代は近代の変異であると同時に近代の延長線上に位置するものであるとしている。そして、管理化や消費社会のなかにありつつ、それでもなお、我々は猫を愛し、守られるべき存在だと思っている。その結果として追求されるものが、人間のみの幸せなのか、それとも猫自体の幸せをも目的とするものなのかを問題としている。私も猫を家で買い始めたとき、この問題について考えることがあった。そのとき猫の幸せを求めることが飼い主である家族にとつての幸せにつながり、結果立場が変わると考えた。

猫を飼い始める前は、「心を落ちつかせたい」や「幸せな気持ちになりたい」という人間の欲から始まったものではあった。だが、猫と過ごす内に、猫と過ごすことで与えられた「幸せな気持ち」を今度は猫に返そうと思うようになり、飼い主である家族は猫がどうすれば幸せになるかを考えるようになる。それを何度もくり返す内、猫が幸せになることは、家族の幸せでもあるということに気づき始める。人間と猫の感情と行動はこのように循環しており、人間は猫を心の中心とするようになるだろう。そうなる今後は、猫が人間を動かし、猫に行動を管理されることになる。もちろん、猫は「管理しよう」等と思わないため、猫が人間を管理する体制は、人間から始め、自然と作られていたことになる。

この家族という社会の中で飼われている側の猫が、人間の行動に強い影響を与えるようになった仕組みは、人間と猫の間だけに存在しているのではない。学校、職場、社会そのもの等、他者との関わり合いが必然的に行われ、その他者との信頼が生まれる場面に存在している。

人間と動物や、他者と関わり合うことはもちろん大切である。だが、その動物や他者が中心になるような生活することは自己を見失ってしまうだろう。社会の中で対等な感情を客観的に知覚することが必要だ。

## 評価ポイント

課題文は単に猫の話をしているわけではありません。イメージ論などの文化史的考察にとどまらず、人間社会の変容とともに猫の生活環境も変化し、またその変化から人間の生活形態自体の変化もうかがえる文章となっています。つまり「解答者の飼ってきた猫」という経験談を語るだけでは、課題文の読解ができていないと判断せざるを得ません。参考解答の「社会と感情の循環」では自らの飼育経験を通じて、人間の家族形態、そして人間社会の問題へと視野を広げている点が評価できます。

## 参考解答

## 猫から考える人間の管理化

筆者は、猫の現代は近代の変異であると同時に近代の延長上に位置すると述べている。現代のあらゆるものは消費社会と合理化のなかで生産されており、その延長線上には管理化という動きも存在する。猫に対する避妊、去勢手術やマイクロチップの埋め込み、金銭での売買を人間に置き変えると、異質だと捉える人が多数だろう。しかし、筆者は現在猫がされているのと同様の管理を人間がされる社会が到来する可能性を示唆している。

私は筆者の意見に賛成である。近い将来に猫だけでなく人間に対しての管理化の動きも加速すると考える。人間には猫と違いプライバシーや人権があるので管理化は起こらないと考える人もいるだろう。確かに、我々にはプライバシーの権利があり、猫ほど急速に管理化が進むことは無い。しかし、新型コロナウイルスの流行により人間の管理は着実に進んでいると考える。

例えば、中国では感染症の流行を静めるため、国民の動きを管理した。携帯電話のGPS機能などを使い、行動を把握したことで見事に感染拡大を止めた。この政策には賛否両論があるが、本当に感染拡大を止めることが出来たのなら、私は良いと考える。課題文中にもある通り、重要なのは管理や消費が行われているか否かより、その結果追及するものが何なのかということである。人間のみの幸せなのか、猫自体の幸せをも目的とするものなのか。これを人間の管理化に置き変えると管理者のみの幸せなのか、国民や社会全体の幸せをも目的とするものなのか、になると考える。つまり、政治を行う者が国民を意のままに操るためでなく社会のためであるならば管理化を進めることが必要な場合もあるということである。

以上のことから私は、人間が管理される社会が到来すると考える。その時、管理する人間は自らの行為は本当に社会を良くすることが出来るかを考え続けなければならない。

## 評価ポイント

必ずしも自らの経験や解答を書く必要はありません。社会的な出来事を受け止め、自らのなかで咀嚼していれば、課題文に書かれている何かしらのポイントから自らの意見を立ち上げていくことができるはずです。もちろん、そのためには日ごろからニュースやアンテナを向けたり、さまざまな文章を読み、他者の意見に触れることで、多様な思考・思想に接しておく必要があります。参考解答の「猫から考える人間の管理化」は課題文をさらに拡大し、現在性に立脚しながら自らの意見を確立している点を評価できます。

## 一般選抜入学試験〔後期〕

### 問題

「(社説)パラ大会閉幕 将来に何をどう残すか」(出典:2021年9月6日 5時00分 朝日新聞デジタル [https://digital.asahi.com/articles/DA3S15033743.html?iref=pc\\_photo\\_gallery\\_breadcrumb](https://digital.asahi.com/articles/DA3S15033743.html?iref=pc_photo_gallery_breadcrumb) (試験問題用に一部改変))からの抜粋です。

この文章を読み、「社会と人間」をテーマに自分の考えを、600字〜800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

※文章は著作権の問題により公開できません。

参考解答

多様性という免罪符

コロナ禍で非常に苦しい状況の中、東京パラリンピックが開催され、多くの人々に支えられながら無事開幕を迎えた。選手たちの活躍に感動をもらった素晴らしい大会となったが、様々なチームが浮上するきっかけとなり、今後の課題は山積みとなっている。大会終了とともに課題を忘れることなく、模索していくことが社会への発展へつながると課題文では述べられている。

私自身、今大会を見て感動をもらったうちの一人だ。テレビで試合の中継を観て、「障害者の人なのになぜいいな」という感想を持った。しかし、私が感動したのは、障害者が頑張っている姿ではなく、選手が障害という苦悩を乗り越えて、努力している姿だということに気づいた。知らないうちに偏見を持ってしまうていたのだ。

このような偏見は、SNS上での発言で多く見られる。ある日「障害者なのは多様性だが、そういった人々を気持ち悪いと発言するのも多様性だ」というコメントを目にした。多様性という言葉は、良くも悪くも「便利」な言葉になってしまっている。多様性というのはマイノリティを理解するための言葉であって、自分の考えを振りかざすための免罪符ではない。現代には一つの事柄に対して、実に多くの価値観や意見がある。それらをすべて配慮して発言するというのは不可能だが、その発言によって傷つく人がいないかと考えるのは簡単なことだ。

「多様性」という言葉は、もはや単なる良い言葉として使われなくなってしまうのかもしれない。しかし、「多様性」という言葉に希望をもらった人も確実にいるだろう。そういった人たちが存在するこの現代で、「多様性」という言葉が使いつらい言葉にならないよう願うばかりである。

評価ポイント

課題文を読むと毎日のように経験している日常生活を別の視点で見ている人がいること、そこに驚くべき自然の力や我々の営みの蓄積、そして問題点や課題のあることに気づかされます。

その気づきから、今一度自らの経験を追ひ、提示された問題や課題を咀嚼します。そして、身近な経験だからこそ考えられ導き出せる解決策や新たな視点の提示が、本問のような小論文には求められます。

この回答例は、パラリンピックから「多様性」に着目し、そこに潜む問題を一般の身近な視点から述べ、驚嘆を鳴らしています。構成もよい。

|                        |                                                                                                                                                                                         |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出題内容                   | 鉛筆によるデッサン<br>モチーフ: 日用雑貨と手 (片手・両手いずれも可) (全入試共通)                                                                                                                                          |
| 評価のポイント                | 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する<br>観察力: 形、質、色などモチーフが持っている情報をどれだけ多く得られているか<br>構成力: モチーフの組み合わせ方、画面にどのように描いているか<br>描写力: 観察して構成したものをしっかり描いてモチーフの特徴が第三者にも判るか                               |
| 大学で用意するもの              | B3 画用紙、下書用紙 (A3、2 枚)                                                                                                                                                                    |
| 受験者が用意するもの<br>(使用可能用具) | 鉛筆デッサン用具一式、カルトン (画板) またはパネル、カルトン用クリップ、フィキサチーフ (定着液は試験終了時に限って使用可)<br>使用可: 鉛筆 (シャープペン可)、消しゴム (練り消しゴム含む)、鉛筆削り用具 (カッター含む)、デッサンスケール (デスケル)、擦筆、羽ぼうき (製図用ブラシ含む)、はかり棒、定規、ティッシュおよびガーゼ (袋から出して使用) |

※ 2023 年度の出題概要は、「2023 年度 学生募集要項」をご確認ください。

## ●アドバイス

モチーフは日用雑貨としてみなさんが日頃から目にしているモノです。普段目にしているモノだからこそ改めてしっかり観察する事から始めてみてください。また、モノと人 (手) がどのように接しているのかも観察してみましょう。そして、沢山描いてみるのが大切です。デッサンの評価ポイントは「観察」「構成」「描写」の3つです。この評価ポイントに従って描いてみましょう。

### (1) 観察

「観察」のポイントは、モチーフが持っている情報を収集し、それがどういうモノなのかを理解できているか? です。手は骨格や筋肉のつき方など、皮膚の下にある構造を意識することが必要です。各指の太さや長さ、手のひらの大きさ、厚み、手首と腕の長さなど、それぞれの比率も重要なポイントです。また皮膚や爪などの質感表現は、「手らしさ」を表す大切な部分です。日用雑貨も同じように構造的な観察を行ってください。紙コップなどのモチーフは形や比率の正確さが特に重要です。またコップの縁の膨らみや紙の薄さ、

持ったときの軽さ、ロープの柔らかさなど、その物らしさを表す部分を見落とさないようにしましょう。

### (2) 構成

「構成」のポイントは、モチーフの組み合わせ方、そしてそれらを画面にどのように描いているか? です。まず手と日用雑貨の組み合わせ方が重要です。モチーフそれぞれの「らしさ」が出るポーズ、アングル、組み合わせた時に立体的な空間を作れているか等を注意深く確認しましょう。次に画面にどのように配置するかですが、大き過ぎず、小さ過ぎず、画面の余白との関係をしっかり確認して位置を決めましょう。

### (3) 描写

「描写」のポイントは、観察し構成したモチーフがしっかり描き込まれているか? です。そのためには光の方向を定め、陰影のつき方に矛盾が起きないようにしましょう。また、モチーフの手前と奥の描き込み密度、鉛筆の濃淡の使い分け、観察や構成から得られた事を整理して描き込むようにしましょう。

## 総合型選抜入学試験[併願型]

### 問題

与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンしなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：プラスチックチェーン

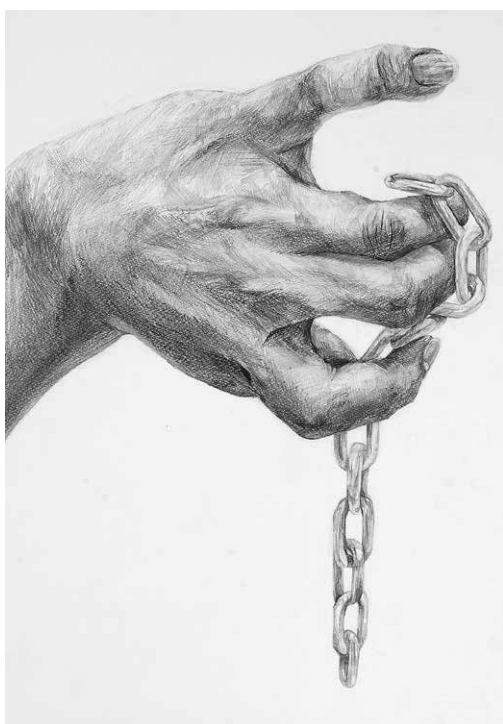


### 参考解答



#### 評価コメント

チェーンを持つ手と垂らしたチェーンの構図が非常に良いです。台の上に落ちた影をしっかりと描いていることにより描き手の意図と空間を感じることが出来ます。プラスチックチェーンの質感、重なっている構造、手の立体感、特に小指の描き込みなど足りない部分もありますが全体のバランスが取れた良いデッサンです。



#### 評価コメント

複雑な動きの手指を画面上部に配置し、そこから垂れ下がるチェーンのまわりに出来上がる空間をうまく表現した構図がとても好印象です。複雑な動きによって出来た皮膚のシワを描き込むことで、無機質なチェーンとの質感の描きわけも上手にできています。親指や小指をうまく見せることのできる構成をもっとプランニングできるとさらに良くなるでしょう。



#### 評価コメント

チェーンを持つシンプルな手の動きと、そこからまっすぐに垂れ下がるチェーンの関係性が画面に清涼感を与えていて好印象です。手首を折り曲げることによって出来上がった空間から右下のチェーンにかけての構成も良いです。手の描写の密度を上げ、チェーンとの質感の描き分けができるようになるとさらに良くなるでしょう。

一般選抜入学試験[前期・専願型]  
大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]

問題

与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンしなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：ガラス瓶(蓋付き) 1点



参考解答



評価コメント

逆光の設定によってドラマチックな印象を演出しています。コントラストが強すぎて白抜けしている部分がありますが、もう少し明るさの段階を作ることでも手の質感がより柔らかくなり、硬質な瓶との違いが表せるでしょう。指を折り曲げる力の感じがよく表現されていて、部分として魅力的に見せようとする意図が伝わってきます。

**評価コメント**

力みのない自然さが好印象です。手指は豊かな膨らみを意識し、瓶は細かい反射を描き込むことで、有機物と無機物の対比が表現できています。ガラスの厚みと透明感の再現には成功していますが、瓶本体（立方体）と口やフタ（円柱）の位置関係が少しずれ、微妙に歪んでいるところが非常に惜しいです。中心線や対角線などで確認しながら描き進めるとさらに良くなるでしょう。



#### 評価コメント

瓶の比率、質感などよく描けていますが蓋の形がやや歪んでしまっている点が残念です。

工業製品は寸法や構造がはっきりしているので形のずれがすぐに認識させてしまいます。正確に描くよう心がけたいところです。また瓶を持つ手は中指と薬指の形状が弱く感じられます。ここを描くことによって瓶を持つ手の立体感がより強調されます。



#### 評価コメント

瓶を持つ手の力の入れ具合まで伝わってくる良いデッサンです。手はよく描けていますが瓶の形状が歪んでしまっています。ガラスの部分はおよその形は合っていますが蓋の中心がずれて歪んでしまっています。どれだけ質感を描き表しても形が歪んでしまつては意味がありません。凹凸に感わされないよう構造をしっかり描き表すことが重要です。

## 一般選抜入学試験[後期]

### 問題

与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンしなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：CD-R 1点



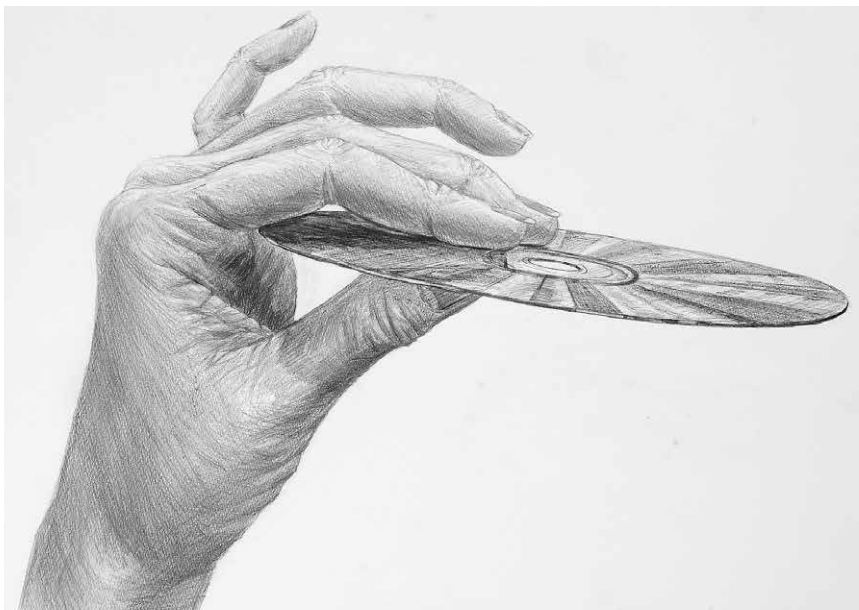
デッサン

### 参考解答



#### 評価コメント

5本の指でCDを支えるダイナミックな構図が印象的です。のびやかに広がった指や皮膚のしわが動きを感じさせ、無機質で光学的なCDとの対比が良く表現されています。手の描写が強くCDが浮いてしまっていることで手のひらのCDの影を強調することで立体感が増してきます。またCDの楕円を正確に描くと引き締まった印象になります。



#### 評価コメント

横画面に手とCDがバランスよく配置された安定感を感じる構図です。薄くて硬いCDの量感が指の位置関係を正確に描くことによって伝わってきます。全体的に淡く明るい画面の中、細かい階調でしわの立体感が表現されており、手にかかるCDの影を強調することによって空間を感じさせることができます。CDの楕円を正確に描くとさらに良くなるでしょう。

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出題内容       | 水彩画制作<br>[試験別モチーフ]<br>○総合型選抜入学試験[併願型]: 果物、野菜、無機物などの静物1〜2点<br>○一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]<br>花、果物、野菜、無機物などの静物を数点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 評価のポイント    | [思考力・判断力・表現力]を評価するため、以下のポイントを重視する<br>○総合型選抜入学試験[併願型]<br>描写力(技術): 対象から得た情報を個々の技術でいかに再現出来ているか<br>観察力: 対象の形態、質感、色をどれだけ捉えることが出来ているか<br>発想力(独自の視点): 画面上において、対象から得た情報を独自の視点で解釈、表現出来ているか<br>表現力(色彩表現): 色彩を用いて対象の魅力を表現出来ているか<br><br>○一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]<br>描写力(技術): 対象から得た情報を個々の技術でいかに再現出来ているか<br>観察力: 対象の形態、質感、色をどれだけ捉えることが出来ているか<br>発想力(独自の視点): 画面上において、対象から得た情報を独自の視点で咀嚼、表現出来ているか<br>構想力(構図): 対象を卓上で組み合わせ、それらを画面上で構築することが出来ているか<br>表現力(色彩表現): 色彩を用いて対象の魅力をいかに表現出来ているか |
| 大学で用意するもの  | P12号の水張りパネル                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 受験者が用意するもの | 水彩用具一式、筆洗、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、描画用具                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

※2023年度の出題概要は、「2023年度 学生募集要項」をご確認ください。

#### ●総合型選抜入学試験[併願型] 出題のねらい

一般入試と異なり、限られた数(1〜2)のモチーフで水彩画の試験を行います。対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということが特に重要です。目前の対象をただ写し取るだけでは無く、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、また対象の魅力を引き出していく姿勢を重視します。

#### ●総合型選抜入学試験[併願型] アドバイス

対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということを重視します。形態を捉えることはもちろんのこと、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、そして対象の魅力を引き出そうとする姿勢が大切です。絵の具における色彩表現においては、自身の色彩感覚を大切に、積極的に色を探りながら筆で丹念に描くことを心掛けてください。

対象を理解した上で、どのように表現するのかということ大切にしてください。そのためには日頃から自分が何に心惹かれるのか、何を伝えたいのかということを問い、制作に励んでください。

#### ●一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験 [1科目利用] アドバイス

対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということを重視します。形態を捉えることはもちろんのこと、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、そして対象の魅力を引き出そうとする姿勢が大切です。構想に対しての感覚も評価のポイントです。与えられた対象を用いて、明確な意図を示した構図、構成を期待します。

絵の具における色彩表現においては、自身の色彩感覚を大切に、積極的に色を探りながら筆で丹念に描くことを心掛けてください。

5時間という限られた時間の中で魅力的な画面を作るには、何を主題とするのかをしっかりと見極めて制作することが重要です。対象を理解した上で、どのように表現するのかということを大切にしてください。そのためには日頃から自分が何に心惹かれるのか、何を伝えたいのかということを問い、制作に励んでください。

## 総合型選抜入学試験[併願型]

### 問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：パイナップル、カラーボール(赤)



### 参考解答



#### 評価コメント

パイナップルと赤いボールの距離をあえてあけた独自の視点で構成し、2つの関係性に迫り、それぞれの特徴と質感をしっかりと捉えることが出来ています。

特にパイナップルにおいては、実と葉の複雑な表情に誤魔化されない形態の意識と、実と葉を繋ぐ軸の意識を感じます。その上で、実、葉の様々な色相をよく観察し、質感を表現することが出来ています。自身のスタンスを大事にしながらそれぞれの複雑な情報を捉えようとする姿勢がよく伝わってきます。



#### 評価コメント

パイナップルを画面の中央に配置することで主役に据えつつ、手前の赤いボールとの距離感を大事にしながら2つの対象の特徴を表現することが出来ています。また、パイナップルを斜めに配置するなど構図への配慮にも好感が持てます。

パイナップルにおいては形態を理解し、表情や質感、色彩に至るまで、観察がよく行き届いています。複雑な表情を筆で丹念に描き、実の詰まった特徴を見事に表現することが出来ました。また、葉の描写においても熱意が伝わってきます。

# 一般選抜入学試験[前期・専願型]

## 大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]

### 問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：花(グラジオラス1本、ユリ1本)、  
グレープフルーツ1個、いちご3個、  
画用紙(薄青色)1枚、リボン1本、デキャンタ1個



### 参考解答



#### 評価コメント

花と瓶を中心に据え、台に置かれた対象を含めて全体的にバランスよく配置された構成です。花周り、台上と双方の空間の広がりも感じられます。花、瓶、果物、布、リボンと異なるそれぞれの対象の特徴をしっかりと捉え、質感と量感を表現することができています。また、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、対象の魅力を引き出そうとする熱意に好感が持てます。

#### 評価コメント

花、瓶、台上の果物、布に至るまで、それぞれの対象をしっかりと捉えることができています。配置構成も吟味され、左からの光源に設定した状況が美しく感じられます。それぞれの主張が若干強いところはありますが、色彩表現において質感を考えながら筆で丹念に描くことで対象に迫る気迫のようなものを感じることが出来ます。ユリ、グレープフルーツなど、細部まで行き届いた観察と対象の魅力を引き出そうとする姿勢に好感が持てます。





#### 評価コメント

全体的にバランスよく配置された構成です。一つ一つのモチーフの向きや重なりに配慮し、見せ方にも工夫が見られます。瓶の下部の形態感もう一步ですが、瓶に入れられた植物の配置には高い配慮が見られ、花と葉の空間の広がりがよく感じられます。それぞれの対象を丁寧に観察して、対象の特徴や瑞々しい質感を捉えていこうとする姿勢、色鮮やかな鮮度、魅力を引き出そうとする姿勢に好感が持てます。

## 一般選抜入学試験〔後期〕

### 問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：啓翁桜1本、榎1点、りんご1個、金柑3個、  
日本酒瓶(300ml)1点、画用紙(水色)1点



### 参考解答

参考解答なし

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出題内容                   | <p>油彩画制作(アクリル絵の具も可)</p> <p>○総合型選抜入学試験[併願型]: 静物油彩(F12号)<br/>器物、ガラス、野菜、果物など複数のモチーフがセッティングされた状況を描く</p> <p>○一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]: 自画像油彩(F10号)<br/>テーマやモチーフの課題に沿って自画像(自身)を描く</p>                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 評価のポイント                | <p>「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する</p> <p>○総合型選抜入学試験[併願型]<br/>描画力: 対象の形態、質感、色彩を意識し、しっかり描くことが出来ているか<br/>構成力: 台上に置かれた複数のモチーフを、適度な大きさで画面上にトリミングし、描くことができて<br/>空間表現: 画面全体のパースペクティブ(遠近感)を把握し、物の前後関係や奥行き、そして背景との繋がりが描かれているか</p> <p>○一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]<br/>描画力: 対象の形態、質感、色彩を意識し、しっかり描くことが出来ているか<br/>構成力: ポーズやモチーフの画面への入れ方、背景との関係を意識できているか<br/>発想力: 出題テーマやモチーフの魅力を引き出すためのアイデアを思考し、自然に表現できているか<br/>素材の扱い: 油絵具(アクリル絵具)の素材の特性や、筆やナイフなど画材の扱い方を理解し、活かしているか</p> |
| 大学で用意するもの              | <p>○総合型選抜入学試験[併願型]: F12号のキャンバス</p> <p>○一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]: F10のキャンバス、鏡</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 受験者が用意するもの<br>(使用可能用具) | 油彩画用具一式(アクリル絵の具も可)、描画道具                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

※2023年度の出題概要は、「2023年度 学生募集要項」をご確認ください。

## ●アドバイス

総合型選抜入学試験[併願型]、一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]・大学入学共通テスト[1科目利用]の各試験は、それぞれ出題が異なります。

総合型選抜入学試験[併願型]は、静物モチーフを油彩で描く課題です。台に布を敷き、自然物や工業製品のモチーフが、どの角度からも同じに観えるよう公平に配置されています。描くときに気を付けてほしい重要なポイントは、台とモノの関係やパースペクティブ、明暗、量感、質感など、基本的なモノの捉え方です。工業製品である瓶やガラス、ブロックなどが正確な比率で描けているか、自然物である野菜や果物、植物がみずみずしく彩り豊かに描けているかなど、モノの形態や特徴、色彩や存在感を意識することが大事です。トリミング(画面を切り取る)ことは、モチーフの主役・脇役を考え、全体的に小ぶりにならないように気をつけて下さい。その際に背景の面積の空きすぎにも注意しましょう。モチーフは切れ方や配置が不自然にならないように、大きさや前後関係を考えながら画面の中で多少移動しても構いません。水平の台にモノが安定して置かれている状況や、空間の繋がり(手前・中間・奥)を意識して描いて下さい。

一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]は、自画像を油彩で描く課

題です。テーマ内容やモチーフの課題に沿って、自身を自由に描きます。従って総合型選抜入学試験[併願型]に比べて、より自由で幅広い表現が可能です。自画像と背景との関係を考慮しながら、ポーズが画面にどのように入るかを意識して下さい。出題テーマは、具体的な状況イメージを想定して、モチーフ課題はそのモノをどのように扱い画面に入れるかを考え、自然な状況を意識して描いてください。自画像の構図は、顔を適度に大きく入れ、角度や動きを意識すると描くポイントや存在感を演出できますが、アイデア次第ではそうでなくても構いません。テーマから導かれる物語性や、モチーフの特性を捉えた個性的なアイデアを考えてみましょう。その際、あまり不自然な状況になり過ぎないように注意して下さい。支給された鏡を活用し、自身の発想力を最大限に活かしながら自画像を描いて下さい。

どちらの入試課題も構図は縦横自由です。油絵具(アクリル絵具も使用可)の素材の特性や色彩、物質感を活かしながら、筆やナイフ、布や指などを工夫して使い、自身の感性を引き出すよう楽しく描きましょう。しかし5時間の短い試験時間内ですので、過度なテクニックを求めているではありません。あくまで観察を基本に、対象を的確に捉えながら、しっかり描いて下さい。積極的なアプローチを心がけ、絵心溢れる絵画制作をして下さい。

## 総合型選抜入学試験[併願型]

### 問題

油彩にてモチーフを描きなさい。



### 参考解答



#### 評価コメント

テーブル面のパースがしっかり意識されており、画面に広がりを感じられます。混色によって作り出された影の色は、白菜や瓶の白さや布の明るさを引き立てていて、爽やかな印象の心地よい仕上がりとなりました。手前のワイン瓶に対し奥の瓶を逆光気味に描く事で奥行きのある空間を感じさせています。背景にもモチーフの色を調和させる事で画面全体をよくまとめています。





#### 評価コメント

白菜やホース、木枠の木目など、細部までしっかり描き切ることで、質感や色彩をよく捉えています。縦構図を選んだことでモチーフが少なくなりましたが、手前から奥までそれぞれの位置関係が描き分けられ、奥行きある画面となりました。モチーフ個々の関係や陰影もよく観察できており、瓶や白菜で分断されたホースの繋がりも表現できています。



## 一般選抜試験[前期・専願型]

### 大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]

#### 問題

与えられたモチーフを入れて自画像を描きなさい。

モチーフ：透明プラスチックのコップ 1点

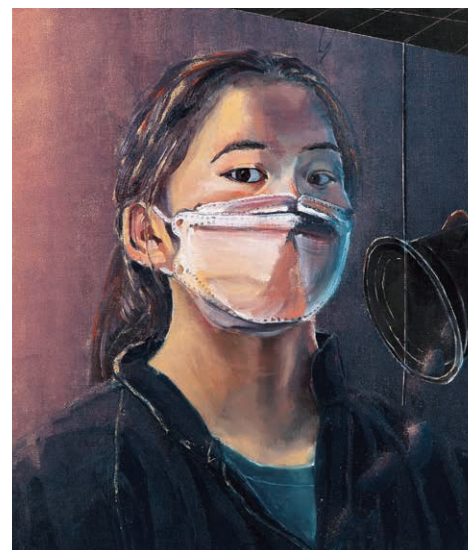


#### 参考解答



#### 評価コメント

ユーモアの感じられる質の高い作品です。マスクと青いパーカーの質感の差を、絵の具の厚みに変化を付けて象徴的に描き分けています。肌の精緻な筆致と、絵具を伸ばしたようなコップの質感の描き分けも注目すべき点です。コップに可愛らしい兔の絵を施す一方で、背景を不穏な表現することで画面を複雑に見せているのも魅力的です。





#### 評価コメント

コップを使った自然なポーズを画面に大きく入れ、伸びやかさと清々しさを感じさせる作品です。光の差す方向やコップの質感、人物の形態などをしっかり観察し表現できています。絵具の塗りの薄さに物足りなさはあるものの、色の持つ明度や彩度を生かした透明感のある仕上がりとなりました。





#### 評価コメント

コップ越しの目にフォーカスして超自然的な現象を表した意欲作です。コップ越しの目や炎と素の肌とで絵具に厚みの変化をつけて、より異質な状況を際立たせています。親指の付け根が細過ぎるなど、コップを持つ手に違和感を覚えるので、手の骨格を意識できるとより説得力を持たせることができたでしょう。



## 一般選抜入学試験[後期]

### 問題

自画像を描きなさい。ただし、手を必ず画面に入れること。

### 参考解答

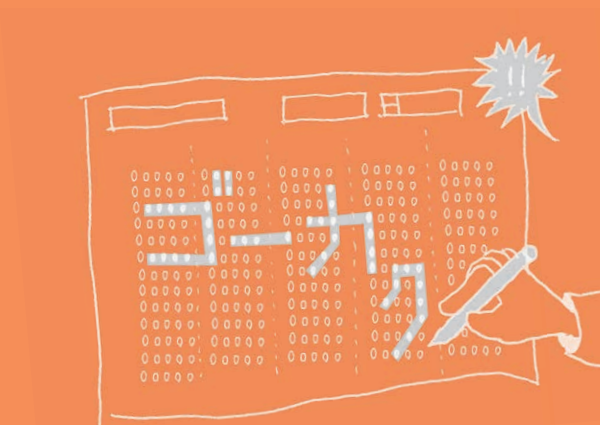


#### 評価コメント

ポーズや構図、描写ともに評価できる作品です。薄いマスクをめくる仕草に動きがあり、画面上でバランスよく配置されています。メガネの金具部分やマスクの縫い目、シャツの厚みまで細やかに描き込まれ、高い描写力が感じられます。背景の白に人物の色彩が反映されており、空気感の感じられる表現となっています。首の付け根や手首をより観察して描くことで、人物としての説得力が増すでしょう。

# 教科科目

英語 / 国語 / 数学



## 2022年度出題概要 ※2023年度の出題概要は、「2023年度 学生募集要項」をご確認ください。

### 英語

試験時間 60分

出題範囲 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ  
英語表現Ⅰ(筆記試験のみ) (リスニングテスト及びスピーキングテストは実施しない)

評価のポイント 英語の基本的理解力及び読解力

問題→ P.56 ～ P.65 問題解答→ P.82

### 国語

試験時間 60分

出題範囲 国語総合(古文・漢文を除く)

評価のポイント 日本語の読解力及び日本語による表現力

問題→ P.66 ～ P.77 問題解答→ P.83

### 数学

試験時間 60分

出題範囲 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B  
空欄補充式(80点)と記述式(20点)による。数学Aについては「場合の数と確率」、「図形の性質」から1題を選択して解答する。数学Bについては「数列」、「ベクトル」から1題を選択して解答する。

評価のポイント 数学の基礎についての理解力

※数学において、基礎についての理解力に加えて、「思考力・判断力・表現力」を評価するために、過程を含めて記載を求める記述式問題を出題します。

問題→ P.78 ～ P.81 問題解答→ P.84 ～ P.86

C 次の(1)～(16)の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれの1～4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) This coupon is not (     ) with other discount offers.  
1 quite     2 misrouted     3 edible     4 valid
- (2) Ms. White was (     ) grateful for the help she received from her friends.  
1 sadly     2 truly     3 suddenly     4 unknowingly
- (3) We will not go on a picnic if it (     ) tomorrow.  
1 rain     2 rains     3 rained     4 raining
- (4) (     ) you belong to the tennis club when you were a high school student?  
1 Are     2 Were     3 Do     4 Did
- (5) Her grandmother (     ) away peacefully from old age.  
1 passed     2 reckoned     3 sent     4 called
- (6) We look forward (     ) hearing from you again soon.  
1 in     2 to     3 on     4 by
- (7) I'm sorry to (     ) you, but could you repeat that again?  
1 bother     2 excuse     3 mend     4 put
- (8) The dog wagged (     ) tail.  
1 there     2 their     3 its     4 him
- (9) You will get hurt (     ) you are careful.  
1 whereas     2 without     3 during     4 unless
- (10) We've known (     ) other for over a decade.  
1 one     2 every     3 each     4 all
- (11) There (     ) a few good restaurants in this area.  
1 am     2 is     3 are     4 was
- (12) Every student cleans the studio on a (     ) basis.  
1 regulate     2 regular     3 regularly     4 regulation

2

英語

第1問 次のA～Dの各問いに答えなさい。(配点50)

A 次の(1)～(5)の発話に対する応答として最も適切なものを、下の1～5のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) It's very kind of you.  
(2) Should I stay or leave?  
(3) How did you get here today?  
(4) Do you know where the nearest station is?  
(5) I need your help.
- 1 My sister gave me a ride.  
2 I'm a stranger here myself.  
3 You're welcome.  
4 What can I do for you?  
5 It's up to you.

B 次の(1)、(2)の各文を会話が成立するように並べ替え、番号で答えなさい。  
(例) 1－3－2－4

- (1)  
1 That's cute. Who is it for?  
2 Take a look at this card.  
3 You should give her a bunch of flowers too.  
4 Cindy. She's turning 18 tomorrow.
- (2)  
1 Did you hear about Greg?  
2 Good for him!  
3 He won an art prize.  
4 No, what happened?

1

- (13) The heavy rain (     ) us from going outside all day.  
 1 disappointed    2 continued    3 distorted    4 prevented
- (14) The critic (     ) them as one of the greatest artists in the country.  
 1 hailed    2 tapped    3 reconciled    4 conquered
- (15) There were about forty people, (     ) me, at the conference.  
 1 including    2 figuring    3 manifesting    4 establishing
- (16) One of our cats (     ) walking in the backyard now.  
 1 have    2 is    3 are    4 did

D 下線部の発音が他の3つと異なるものを1つ選び、番号で答えなさい。

- (1) 1 stream    2 wealth    3 weak    4 beneath  
 (2) 1 mended    2 granted    3 touched    4 naked

第2問 次のA～Bの各問いに答えなさい。(配点50)

A 次の会話を読んで、以下の問いに答えなさい。

# Oyatsu Time in Japan

Jess: Phew, we've been working hard today. Isn't it time (A) a coffee break?

Runa: Yes, let's take a break. I brought some *oyatsu*.

Liz: *Oyatsu?* ①

Jess: It's an afternoon snack. What did you bring, Runa?

Runa: I stopped by at the bakery and bought some chocolate muffins. I wonder ② we say *oyatsu* to mean snack?

3

Jess: I read that the word dates back to the Edo period when people used to work on farms. They only ate two meals a day, breakfast and dinner, so they needed a snack in the afternoon to keep them going.

Runa: But *yatsu* means eight, right? ③ they have a snack (B) 8 p.m?

Jess: No, actually in the Edo period they had a different system for telling the time. It was quite a complicated seasonal system. Night and day were divided into 6 periods (C) and these periods would change in length in summer and winter. *Yatsudoki* which meant the eighth hour, was actually around 2 in the afternoon. The way of telling the time has changed, but the word for snack remained.

Runa: Oh, I didn't know that!

Liz: That's similar to afternoon tea in England. It is a small meal that was first introduced in the 19th century when dinner wasn't usually eaten until around 8 p.m. so people would get hungry in the late afternoon. But it wasn't for farmers, it was for the rich people!

Runa: Do people still have afternoon tea these days?

Liz: Not really. Afternoon tea, which is tea with cakes and sandwiches, is usually eaten on special occasions or on holiday. You often see it on the menu in hotels and tourist locations. These days it's normal for workers to have a cup of tea and a biscuit in the afternoon. It's an important part of office life!

(1) 文中の①に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 How do you like it?  
 2 What do you like the best?  
 3 What is it?  
 4 Who is it for?

(2) 文中の②に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 why  
 2 when  
 3 what  
 4 which

4

(3) 文中の③に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 Were
- 2 Have
- 3 Did
- 4 Had

(4) 文中の(A)～(C)に適切な語を入れるときの正しい組み合わせを、下の1～6のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

|   | (A)  | - | (B)  | - | (C)  |
|---|------|---|------|---|------|
| 1 | at   | - | each | - | for  |
| 2 | at   | - | for  | - | each |
| 3 | each | - | at   | - | for  |
| 4 | each | - | for  | - | at   |
| 5 | for  | - | at   | - | each |
| 6 | for  | - | each | - | at   |

(5) 次の[1]～[4]の質問に対する答えを、それぞれ下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

[1] Which of the following statements is true?

- 1 Jess is in charge of serving coffee today.
- 2 Liz has not heard of the word *oyatsu* before.
- 3 *Oyatsu* used to mean dinner a long time ago.
- 4 Runa works for the bakery.

[2] Which of the following statements is false?

- 1 The word *oyatsu* originated in the Edo period.
- 2 It was not unusual to have only two meals a day in the Edo period.
- 3 People in the Edo period usually had a snack at eight in the evening.
- 4 *Oyatsu* helped farmers keep working during the day.

[3] Which of the following statements is true?

- 1 *Yatsudoki* is the word to describe two hours long.
- 2 There were six days a week in the old Japanese calendar.
- 3 People in the Edo period divided one year into summer and winter.
- 4 Japanese people no longer use their indigenous time system.

5

[4] Which of the following statements is false?

- 1 Afternoon tea in England is the equivalent of Japanese *oyatsu*.
- 2 People in England didn't usually have lunch so they were hungry at night.
- 3 Some English hotels offer traditional afternoon tea these days.
- 4 Today it is common for workers in England to have a cup of tea and a biscuit.

B 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

### Rain in Japan

Many Japanese people think that England is the place where it rains all year. While this may have a modicum of truth to it, London in fact only receives about 600 mm a year, whereas Tokyo sees an average annual rainfall of 1,500 mm. Rain and talking about the weather are something the two countries have in common. Rain is a large part of Japanese life and has influenced the culture and language.

In fact, there are over 50 Japanese words for rain which describe types of rain, temperatures, timings, and combinations of rain with other weather. There are some special onomatopoeic expressions for the sound that rain makes too. *Potsu potsu* is the dripping sound, often heard just as it begins to rain. *Shito shito* is the sound of rain the English would call “drizzle,” a long continuous almost silent rain, and *zaa zaa* is the sound of a downpour, a fierce pounding rain beating down.

The Chinese characters used for rainy season translate into “plum rains,” as this is the season when sour plums start to ripen. Rainy season in Japan is hot and sticky. It is a time crawling with insects as they run from the rain, and the rice fields are full of the sound of frogs. Another word for these rains in mid-June is *Samidare*. It is also used as a set phrase to apologize to someone for pestering him or her, much like one could find a sudden downpour of rain a nuisance when trying to go somewhere.

Staying dry in the countryside used to involve thick straw hats, which are often featured in folk dances, as umbrellas were a luxury item reserved for the rich until the Edo period. These days, however, it is said that Japan has the highest number of umbrellas per capita in the world. This is probably not a surprise as Japan is littered with a plethora of umbrellas. Provisions for umbrellas are plentiful, ranging from umbrella stands outside every shop, often stuffed full, to umbrella bag dispensers for people to carry their umbrellas in shops without dripping on the floors. Semi-disposable clear umbrellas are sold in convenience stores for the times you get caught out, and many people will keep a spare one at work.

Rain also features in Japanese art. The Haiku poet Basho took his poet name from the banana

6

plant in his garden, which, it is said, he enjoyed the sound of wind and rain on. One Haiku inspired by the rain reads “a falling sound, that sours my ears, plum rain.” Also, there is a romantic side to rain expressed in an umbrella doodle with two people’s names, showing the couple like each other. It is called *aiiai gasa*, and further illustrates the special feelings that a rainy day can invoke.

[注] modicum : いくらかの      onomatopoeic : 擬音の      pester : 苦しめる  
a plethora of : あり余るほどの

(1) 次の[1]～[5]の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の1～4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

[1] Tokyo has an average rainfall of 1,500 mm \_\_\_\_\_ year.

- 1 due
- 2 per
- 3 on
- 4 of

[2] Japanese people have \_\_\_\_\_ than 50 words for rain.

- 1 higher
- 2 over
- 3 more
- 4 less

[3] In Japan it becomes incredibly muggy as \_\_\_\_\_ as rainy season begins.

- 1 soon
- 2 many
- 3 long
- 4 far

[4] Basho \_\_\_\_\_ his poet name from the banana plant.

- 1 robbed
- 2 disturbed
- 3 derived
- 4 managed

[5] Rain not only invokes annoyance \_\_\_\_\_ also romantic feelings.

- 1 but
- 2 without
- 3 beneath
- 4 among

(2) 次の[6]～[9]の質問に対する答えを、それぞれ下の1～4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

[6] Which of the following statements is true?

- 1 People in Tokyo don’t talk much about the weather.
- 2 It rains only in fall and winter in England.
- 3 They have more rain in London than in Tokyo.
- 4 Japanese culture has been influenced by abundant rainfall.

[7] Which of the following statements is false?

- 1 People both in England and Japan have conversations about the weather.
- 2 They have a lot of vocabulary on rain in Japan.
- 3 It’s humid during rainy season in Japan.
- 4 “Drizzle” is the word to describe a driving rain.

[8] Which of the following statements is true?

- 1 People never use Chinese characters for words describing types of rain.
- 2 Few people care about the sound that rain makes.
- 3 Plum rain was named by a famous Haiku poet.
- 4 In Japan they associate plum rains with a way of apology.

[9] Which of the following statements is false?

- 1 There was a time when umbrellas were expensive in Japan.
- 2 It’s not allowed for people to carry a wet umbrella in shops.
- 3 Many Japanese people keep more than one umbrella.
- 4 You can see umbrella stands fully stuffed in front of shops.

(3) 次の[10]～[12]の英文において、それぞれ下の1～3の語を並べ替えて空欄を埋め、完成させるとき、( )に入る語はどれか。番号で答えなさい。

- [10] Rainfall in Tokyo is more than \_\_\_\_\_ (     ) \_\_\_\_\_ London.  
1 of    2 that    3 double
- [11] Many shops offer umbrella bags which keep the water \_\_\_\_\_ (     ) \_\_\_\_\_ the floor.  
1 onto    2 from    3 dripping
- [12] Basho is \_\_\_\_\_ (     ) \_\_\_\_\_ taken delight in the sounds of rain.  
1 to    2 have    3 said
- (4) 次の[13]、[14]の問いに英語で答えなさい。
- [13] Give one example of a Japanese onomatopoeic word for rain and describe how it falls or sounds.
- [14] How would you like to spend a rainy day?

英語

第1問 次のA～Dの各問いに答えなさい。(配点50)

A 次の(1)～(5)の乗語に対する応答として最も適切なものを、下の1～5のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) Are you ready to order?  
(2) Who drew this picture?  
(3) How did you pay for tuition?  
(4) I went to see my uncle.  
(5) I love painting.
- 1 How was he?  
2 I worked as a tutor.  
3 I need more time.  
4 My brother did.  
5 So do I.

B 次の(1)、(2)の各文を会話が成立するように並べ替え、番号で答えなさい。

(例) 1－3－2－4

- (1)
- 1 To a concert.  
2 How did you like it?  
3 Where did you go last night?  
4 In a word, it was awesome.
- (2)
- 1 Not everyone is happy about it.  
2 You're right.  
3 Well, you can't please everyone.  
4 How's the new office?

C 次の(1)～(16)の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の1～4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) Do you ( ) to any magazines or newsletters online?  
1 subscribe 2 like 3 reconnect 4 read
- (2) They learned that the earth ( ) around the sun.  
1 go 2 goes 3 going 4 went
- (3) This bus will stop ( ) at Richmond rest area to allow passengers to use restrooms.  
1 briefly 2 separately 3 significantly 4 lately
- (4) It ( ) muggy since last week.  
1 is 2 was 3 will be 4 has been
- (5) The train will leave the station in a few minutes as ( ).  
1 scheduled 2 invested 3 located 4 left
- (6) What time is Emily ( ) tonight?  
1 leave 2 left 3 leaving 4 leaves
- (7) To use online meeting applications is an efficient ( ) to face-to-face conferences.  
1 alternative 2 preservation 3 surface 4 machine
- (8) You are ( ) you eat.  
1 like 2 what 3 why 4 do
- (9) Demand for the author's work ( ) after his death.  
1 mingled 2 distinguished 3 speculated 4 surged
- (10) Not all students are familiar with electric ( ).  
1 debates 2 wounds 3 devices 4 rebels
- (11) Exported coffee beans ( ) for two thirds of our product.  
1 account 2 go 3 leave 4 credit
- (12) All our staff know how to ( ) a situation like this.  
1 handle 2 submit 3 recommend 4 draft

(13) According to a survey, most commuters think that there are (     ) bus services at peak hours.

- 1 plenty    2 enough    3 any    4 shortage

(14) David is always kind (     ) everyone.

- 1 of    2 to    3 from    4 by

(15) This vending machine is out of (     ).

- 1 door    2 people    3 question    4 order

(16) Hurry up, (     ) you'll miss the train.

- 1 but    2 and    3 or    4 then

D 下線部の発音が他の3つと異なるものを1つ選び、番号で答えなさい。

(1) 1 wound    2 count    3 sound    4 around

(2) 1 hut    2 fast    3 rough    4 up

第2問 次のA～Bの各問いに答えなさい。(配点50)

A 次の会話を読んで、以下の問いに答えなさい。

#### School Year in Japan

Peter: Do you know    ①    schools start in April in Japan?

Rob: I thought it was because it is the beginning of the fiscal year in Japan. So new students and new company employees all start at the same time, making it streamlined (A) the business world and the process of job-hunting.

Naoki:    ②    But it could also be because spring and the cherry blossom signify new beginnings. So, it seems more natural to start school and new ventures in the spring. To start school in September, heading into winter seems to go (B) the natural flow of the seasons for many Japanese.

3

Peter: But if Japan wants to become internationalized, it would make    ③    to start at the same time as many other countries. It would be easier for international students to come to study in Japan. Also, when Japanese students want to study abroad for a year, they waste time waiting until September to join, or they join halfway (C).

Naoki: True, but some students like to use that time to study English or travel.

Rob: I agree with Peter. I think that when the schools closed at the beginning of the pandemic in 2020, it was a good opportunity to change the school calendar.

Naoki: Yes, I was surprised when the Prime Minister proposed it. But it wouldn't just be schools changing their calendars. It would also affect companies and their recruiting process. It would mean a lot of change.

Peter: Change is hard, but I think it's necessary. The school year right now also makes it difficult for university professors and researchers to join international conventions which are often held during the summer months.

Naoki: Yes, I hear my teacher complain about it. The new calendar starting in September would solve this problem.

Rob: Also, if the schools started in September, it would mean the summer holidays would fall in July and August which are the two hottest months. I guess it seems much more sensible.

(1) 文中の①に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 when  
2 what  
3 who  
4 why

(2) 文中の②に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 I hope so.  
2 That's true.  
3 I'm sorry.  
4 No problem!

4

- (3) 文中の③に入れるのに最も適当なものを、下の1~4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 advance
- 2 sense
- 3 believe
- 4 change

- (4) 文中の(A)~(C)に適切な語を入れるときの正しい組み合わせを、下の1~6のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- |   | (A)     | (B)     | (C)     |
|---|---------|---------|---------|
| 1 | against | through | with    |
| 2 | against | with    | through |
| 3 | through | against | with    |
| 4 | through | with    | against |
| 5 | with    | against | through |
| 6 | with    | through | against |

- (5) 次の[1]~[4]の質問に対する答えを、それぞれ下の1~4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- [1] Which of the following statements is true?

- 1 Peter doesn't believe that most schools start in April in Japan.
- 2 The Japanese financial calendar starts in spring.
- 3 All new ventures are supposed to launch in April.
- 4 Rob wishes that all schools in the world would start in spring.

- [2] Which of the following statements is false?

- 1 Schools in many other countries start in fall.
- 2 The Japanese academic calendar makes it hard for students from abroad to study in Japan.
- 3 Japan must be internationalized to keep up with other countries.
- 4 Not all students waste time waiting for their schools to start when studying abroad.

- [3] Which of the following statements is true?

- 1 The Prime Minister was surprised to see schools closed due to the pandemic.
- 2 Schools need to ask companies when they want to change their calendars.
- 3 Peter was thinking about studying abroad during the pandemic in 2020.
- 4 Rob thought the pandemic would give Japan a chance to reform its academic calendar.

- [4] Which of the following statements is false?

- 1 Some teachers find it difficult to participate in conventions because of their schedule.
- 2 Naoki is aware that a new calendar is of some merit for teachers.
- 3 Rob thinks it would make sense to have a long summer vacation in the hottest season.
- 4 Peter believes some change would improve classroom atmosphere during the pandemic.

B 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

### Buddhist Influences in Modern Japan

When tourists come to Japan, one of the things high up on lists of sightseeing is temples and their tranquil gardens. For many westerners, Japan is synonymous with *Zen* Buddhism and there is a mystique surrounding the temples and Buddhist practices in Japan. An image of Buddhist monks meditating serenely in *Zen* gardens on the quest for enlightenment pervades.

Although about 80% of Japanese people identify themselves as Shinto and Buddhist, it could be said that the majority of Japanese claim not to be religious. It would seem that, apart from funerals, Buddhism plays little or no significant role in the life of modern Japanese. Nonetheless, when we look closely, we can see signs of Buddhism scattered throughout society. Families flock to temples in their hometowns at *Obon* to remember their ancestors. There is often an altar\* in many households where incense is lit and offerings are made to deceased family members.

One often sees little round red figures in people's homes and offices. These are *Daruma* dolls, modeled after Bodhidharma\*—the founder of the *Zen* sect. They are bought at new year for good luck in achieving goals. One eye is painted in, the doll is then placed somewhere visible in the home or office. The other eye is painted when the goal has been accomplished. Another Buddhist image seen all over Japan is *Jizo Bosatsu*. These are either in the form of tiny temples or solitary stone statues of *Jizo*, often wearing a red cape. *Jizo* is the patron saint of children and travelers and is a common sight at the side of roads and paths in every neighborhood in Japan.

In addition, Buddhist phrases are found scattered though the language. For example, the term *mikka bouzu*, which is used to describe people who give up on things easily, comes from novice monks who realized that the extreme discipline required to become a monk was too difficult and would quit only three days after shaving their heads. Or similar to the English phrase "ignorance is bliss" is the Japanese *shiranu ga hotoke*, meaning that without knowing you can be at peace like Buddha.

In recent years, perhaps due to pressure of modern life, Japanese are again turning to Buddhist teachings to help deal with everything from work pressure to relationships. There are several popularized books offering ancient words of wisdom for those in trouble. An interesting trend is a rise in the practice of Mindfulness, a reverse import from the West, a meditation technique based

on Buddhist contemplation. Therapists in the West recognized the valuable psychological teachings of Buddhism and meditation but wanted to make it a secular\* practice and so renamed it "Mindfulness."

Even if not at first obvious, there is still a strong Buddhist undercurrent in Japanese daily life, not to mention the numerous beautiful temple buildings and gardens that make the landscape of every village, town, and city, uniquely Japanese.

[注] synonymous with : ～を連想させる      an altar : 仏壇      Bodhidharma : 菩提達磨  
secular : 非宗教的な

- (1) 次の [1]～[5] の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の 1～4 のうちから 1 つずつ選び、番号で答えなさい。

[1] Western tourists often \_\_\_\_\_ Japan with mystical Zen culture.

- 1 criticize
- 2 patronize
- 3 duplicate
- 4 associate

[2] Most Japanese people \_\_\_\_\_ themselves Buddhists.

- 1 consider
- 2 help
- 3 recall
- 4 smother

[3] The Zen sect was \_\_\_\_\_ by Bodhidharma.

- 1 speculated
- 2 exterminated
- 3 established
- 4 accumulated

[4] You can see Jizo \_\_\_\_\_ the roadside.

- 1 below
- 2 with
- 3 in
- 4 by

7

[5] The \_\_\_\_\_ of Mindfulness was reimported from the West to Japan.

- 1 term
- 2 result
- 3 concept
- 4 reputation

- (2) 次の [6]～[9] の質問に対する答えを、それぞれ下の 1～4 のうちから 1 つずつ選び、番号で答えなさい。

[6] Which of the following statements is true?

- 1 Sightseeing in most temples in Japan is restricted.
- 2 Temples in Japan are popular among tourists.
- 3 The Zen sect in Japan actually has nothing to do with its original roots.
- 4 You will no longer see monks meditating in temples in modern Japan.

[7] Which of the following statements is false?

- 1 You seldom see signs of the Buddhist influence on modern Japanese society.
- 2 Most Japanese people think they are not very pious.
- 3 Obon is when people take time to think about their ancestors.
- 4 It is not unusual to see Daruma dolls in offices.

[8] Which of the following statements is true?

- 1 Novice monks who endure the hardship often wear a red cape.
- 2 The expression "ignorance is bliss" originated from Buddhist wisdom.
- 3 Daruma dolls are usually sold with only one eye painted.
- 4 Jizo is said to warn against quitting things too easily.

[9] Which of the following statements is false?

- 1 Mindfulness has evolved from traditional Buddhist practices.
- 2 Popular books based on Buddhist wisdom are good for those who need help.
- 3 A close look at modern Japan reveals a great influence of Buddhism.
- 4 Recently, Japanese people dismiss old Buddhist teachings.

- (3) 次の [10]～[12] の英文において、それぞれ下の 1～3 の語を並べ替えて空欄を補い完成させるとき、( ) に入る語はどれか。番号で答えなさい。

[10] A lot of tourists \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_ Japanese temples and gardens.

- 1 to
- 2 attracted
- 3 are

8

[11] Families \_\_\_\_\_ (     ) \_\_\_\_\_ temples at *Obon*.  
1 together     2 at     3 get

[12] Western therapists \_\_\_\_\_ (     ) \_\_\_\_\_ to learn from Buddhist teachings.  
1 meaningful     2 it     3 found

(4) 次の[13]、[14]の間に英語で答えなさい。

[13] Give one example of a traditional event you have seen or participated in.

[14] Write about a temple or shrine you have visited.

国語

問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

いまにしておもえば、なんとも惨めになるような発見を十年ほど前にした。「労働」の現在を分析する仕事をしていた頃のことである。ある日ふと企業のさまざまな活動や①ギョウムにある共通の接頭辞がつけられていることに気づいた。それを順にたどり、そしてあきれかえったというより驚愕した。たとえばあるプロジェクトを立ち上げようと提案する。そのプロジェクトの内容を検討するにあたっては、そもそも利益の見込みがあるかどうか、あらかじめチェックしておかなければならない。なんとかいけそうだということになれば、計画に入る。計画が整えば、それに沿って生産体制に入る。途中で②進捗状況をチェックする。支払いは約束手形(まじ)で受ける。そして儲けが出れば、企業は次の投資に向けてさらに前進する。事業を担当した者にはそのあと当然、昇進が待っている……。

ここでポイントになるいくつかの用語を英語になおしてみる。プロジェクトはプロジェクトであるが、次に利益はプロフィット、見込みはプロスペクトである。計画はプログラム作りと言いかえることができる。生産はプロダクション、約束手形はプロミッソリー・ノート、進捗・前進はプログレス、そして昇進はプロモーション。なんと、「プロ」という接頭辞をつけた言葉のオンパレードである。これらはみな、ギリシャ語やラテン語の動詞に「プロ」という接頭辞(「前に」「先に」「あらかじめ」という意味をもつ)がついてできた言葉である。順に、「前に・投げる」「前方に・作る」「前を見る」「先に・書く」「前に・引きだす」「前に・送る」「前に・進む」「前に・動く」……。A、すべてが前傾姿勢になつてゐる。あるいは、先取りのなつてゐる。そして、先に設定した目標のほうから現在なすべきことを規定するということになつてゐる。

こうした前のめりの姿勢はだから、じつのところ、何も待つてはいない。未来と見えるものは①現在という場所で想像された未来でしかない。未来はけつして何が起るかわからない絶対の外部なのではない。その意味で、「プロ」に象徴される前のめりの姿勢は、じつは〈待つ〉ことを拒む構えなのである。

待つことには、偶然の(想定外の)働きに期待することが含まれている。それを先に囲い込んではいない。つまり、ひとはその外部にいかにもみずから開きつばなしにしておけるか、それが〈待つ〉には賭けられている。ただし、みずからを開いたままにしておくには、閉じることへの警戒以上に、努めが要る。〈待つ〉は、③ボウギや放置とは②別のものに貫かれていなくてはならないからだ。

〈待つ〉は偶然を当てにすることではない。何かを訪れるのをただ受け身で待つということでもない。予感とか④予兆をたよりに、何かを先に取りにゆくというのではさらさらない。B、そこには偶然に期待するものはある。あるからこそ、なんの予兆も予感もないところで、それでもみずからを開いたままにしておこうとするのだ。その意味で、〈待つ〉は、いまこゝでの解決を断念したひとに残された乏しい行為であるが、そこにこの世への信頼の最後のひとかけらがなければ、きつと、待

つことすらできない。いや、待つなかでひとは、おそらくはそれより③さらに追い詰められた場所に立つことになるだろう。何も希望しないことがひととしての最後の希望となる、そういう地点まで。だから、何も希望しないという最後のこの希望がなければ待つことは能わぬ、そこを言うべきだろう。待つことのホウキが〈待つ〉の最後のかたちであるというのは、たぶんそういうことである。

「時が流れる」と、ひとは言う。

が、時とは、河の流れのように、かんたんに流れてくれるわけではない。

C、ぺしやんこになるまで踏みつけられた、あるいはこそつと肉をえぐりとられた、としか言いようのない過去の出来事。ちらつと思ひ出ただけで身体ががたがたふるえてしまう過去の傷。口では「過去の」と言っているが、それはほんとうは過去の出来事なのではない。それはいまでもふとわたしの表情をよぎるものであり、フラッシュバック(註3)というのだろうか、ちよつとしたきつかけでわたしをぐらぐら揺さぶる。その烈しさに堪へはない。過去が文字どおり過ぎ去つたものだとする、それはいまわたしのどこかで疼いている。いつまでも過去になつてくれない出来事、「いま」から滑り落ちていつてくれない出来事である。

待つというのもよく似た時間の出来事である。〈a〉

これ以上待ち続けたら身が崩れる。ばらばらになつてしまう。この一分すら耐えるのがおずかしい。時間が苦痛の持続そのものになっている。時間の地平は塞がりきつて、あしたのことなんか考えることもできない。ましてや半年先のことなんて。また同じことのくりかえし。期待を抱けば、ちやうどそれと同じ、いやそれ以上の疲労が後に必ず襲ってくる。その疲労を受け止めるだけの余裕が、押しひしがれたわたしにはもうない……。そしてほそつとつぶやく。「わたし、もうこれ以上待てないわ」。

〈b〉

これをいふのは、④過去の傷についてすでに言つたように、いつまでも現在になつてくれない未来、「いま」へと到来しない未来だと、言つていいだろうか。〈c〉

あるいは、もつと一般的に、未来を夢みたり、未来に目標をもつことができるということ、これが過去に愉しい思ひ出や苦い④カイゴンをもつこと、過去のじぶんの行為に責任をとるということとも、ひとであることの証しである。未来や過去をもてるというのは、現在から離れるということであり、現在にあつて不在のものを思うことができるということである。〈d〉

さきに、いつまでも過去になつてくれない疼きの「いま」にふれたが、疼きは原因となつた出来事が過ぎ去つたにもかかわらず、いまも④報酬にわたしに襲いかかる。その意味では、これもひとであることの証しである。これにたいして激しい苦痛は、ひとを「いま」に閉じ込める。激痛に見舞われているとき、わたしは激痛が消えたあとのこと思つて、気を紛らす余裕がない。過ぎ去つた昔の思ひ出に安らかに浸ることもしない。一、三分後、二、三分前のことすら考えることもできない。文字どおり、ひとは「いま」に貼りつけられる。〈e〉

くりかえすが、未来があるというのは、だから、希望をもてるということである。何かを待つことができるということである。V・E・フランク(註4)によれば、⑤強制収容所(註4)では、クリスマス

スから新年にかけて、いつも大量の死亡者が出たという。これは、⑤カコクな労働条件によるものでも、悪天候や伝染性⑥シツカンによるものでもない。「クリスマスになったら家に帰れるだろう」という、素朴な希望に多くの収容者が身をゆだねた結果だというのである。カコクな毎日が続くなかで生き延びるには、ありえないような極小の希望にそれでも身をあずけるよりほかない。それすらも粉々に砕かれたのである。

V・E・フランクフルは、自身の体験をふり返って、こうも書いている。

破れ靴の中で泥だらけになっている傷ついた足の痛みに殆んど泣きながら、私はひどい寒さと氷のような向かい風の中を長い縦列をなして収容所から数キロ離れた労働場までよろめいて行った。私の心は絶え間なくわれわれの哀れな収容所生活の無数の小さな問題にかかずらっていた。今晚の食事には何が与えられるだろうか？ おそらく追加として与えられるであろう一片のソーセージをパンの一片と取りかえた方がよいだろうか？ 二週間前私に報償として「特給」された最後の煙草をスプーン一杯と取りきすべきだろうか？ どうして切れてしまった靴紐の代りに鉄条網の切端をみつけるべきか？ 労働場で自分がよく慣れた労働グループにうまく入れらるだろうか、それとも他のグループに入れられて、怒りっぽい苦しめる監督の下で殴られるだろうか？

(V・E・フランクフル『夜と霧』、霜山徳衛訳)

「無数の小さな問題にかかずらっていた」……。視野はいよいよ⑦狹窄していった。ひととしての誇りがここでは殺がれている。これもまた、ほぼ点にまで縮まった「いま」への、自己の無惨な⑧ブウサである。

D、言葉の⑨ソウシツ？

言葉は、ひとを「いま」から引き剥がしてくれるものである。言葉によって⑥ひとは時間の地平を超える。「ママ」という言葉を覚えた子どもにとって、母は目の前にいてもいなくても「母」である。犬は目の前にいてもいなくても「犬」である。E、その不在に泣きじやくるばかりではない。泣き叫びながら、母を、犬を、捜しもする。ひとの「現実」は、このように不在のものとともに編まれている。目の前にあるもの、現前から離れることができるということ、それが希望と追憶を可能にし、誇りと⑩フクタンをもたらす。

⑦「いま」というのは、だから、ひとにおいては、デジタル時計の表示するような瞬間的な点ではない。現在が刻々と過去へ滑り落ち、未来がつぎつぎと現在に流れ込んでくるというわけではないのである。

(鷗田清一『待つ』ということ』による。なお、本文に一部変更・省略がある)

【語注】

- 注1： **約束手形**……債務者が債権者に、一定の金額を一定の期日に支払うことを約束して振り出す手形。
- 注2： **フラッシュバック**……強いトラウマ体験（心的外傷）を受けた場合に、後になってその記憶が、突然かつ鮮明に思い出されたり、夢に見たりする現象。
- 注3： **V・E・フランクル**……ヴィクトール・エミール・フランクル（一九〇五～一九九七）は、オーストリアの精神科医、心理学者。ナチスの強制収容所での自身の凄惨な体験を記した『夜と霧』は、世界的なベストセラーとして知られる。
- 注4： **強制収容所**……戦争時における国内の敵性外国人や反政府主義者を、強制的に収容するための施設。ナチスドイツが、ユダヤ人を収容し、大量虐殺を行ったアウシュビッツ強制収容所などが有名。

問1. 傍線部①～④のカタカナ部分は漢字に改め、漢字はよみがなを答えなさい。

問2. 破線部⑦「予兆」⑧「執拗」の意味としてふさわしいものを次の選択肢のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

⑦「予兆」

- (a) 確実に予測できること (b) あらかじめ決まっていること (c) 多くの人が信じていること  
(d) すでに表れている現象 (e) 何かが起きる先触れ

⑧「執拗」

- (a) きつぱりと (b) 何度もくり返す様子 (c) 回りくどいさま (d) しつこいさま (e) 幼い様子

問3. 空欄 **A** ～ **E** に入るべき言葉の組み合わせとして適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア A（だから） B（要するに） C（たとえば） D（ただし） E（あるいは）  
イ A（要するに） B（ただし） C（たとえば） D（あるいは） E（だから）  
ウ A（たとえば） B（ただし） C（だから） D（あるいは） E（要するに）  
エ A（要するに） B（だから） C（あるいは） D（たとえば） E（ただし）  
オ A（だから） B（あるいは） C（要するに） D（ただし） E（たとえば）

問4 次を示す文は、問題文の中でどの文の後に入れるのが適当か、記号〈a〉～〈e〉から一つ選び、記号で答えなさい。

未来があるというのは、希望があるということ、いや希望を容れることができるということである。これにたいして、絶望とは、未来に何も託さない。いや託せないということである。そうはたしかに言える。

問5 二重傍線①「現在という場所で想像された未来」と対比的に用いられている文を、二十字以内で文中より抜き出して書きなさい。

問6 二重傍線②「別のもの」とは何か、文中より適切な言葉を十字以内で抜き出して答えなさい。

問7 二重傍線③「さらに追いつめられた場所に立つことになるだろう」とあるが、極限まで追いつめられた人間の心がどのような状態になるか、具体的に書かれた箇所がある。文中の言葉を用いて二十字程度で書きなさい。

問8 二重傍線④「過去の傷についてすでに言ったように」とはどの部分を指しているのか、文中から抜き出し、最初と最後の五文字を書きなさい。ただし句読点も一文字と数えることとする。

問9 二重傍線⑤「強制収容所では、クリスマスから新年にかけて、いつも大量の死亡者が出たという」とあるが、その理由について、文中の言葉を用いて四十字以内で説明しなさい。

問10 二重傍線⑥「ひとは時間の地平を超える」とあるが、「時間の地平を超える」とは、なにができるということを表しているのか。前後の文章から一つずつ抜き出し、それぞれ二十五字以内で書きなさい。

問11 二重傍線⑦に用いられている「比喩法」を二つ漢字で書きなさい。

国語

問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

風景をテーマとする古典的な著作、特に建築学、地理学、土木工学の視点から風景の意味を主題的に取り上げる著作の多くは、風景の評価にあたり、風土との関係を当然のように前提とします。そして、風土との関係を自明の前提とするかぎり、風景は、地形、気候、植物相などから成る風土と一体のもの、あるいは風土の一部として理解されねばなりません。当然、よい風景とは、風土を反映する風景であり、反対に、風土を無視して作り上げられた人工的な風景は、否定的に評価されます。

①この考え方に従うなら、それぞれの地域の風景の評価には、風土への適応という観点が必要となります。新潟県の豪雪地帯、群馬県の平野部、高知県の海沿い……、それぞれの地域では、個性ある風土への適応を目指して長い年月の間にAシコウサクゴが繰り返され、このシコウサクゴの結果として、伝統的な家屋、伝統的な街並み、伝統的な自然環境、伝統的な日用品、伝統的な農作業のスタイル、伝統的な食生活などが産み出されてきたに違いありません。よい風景とは、風土への適応の努力の結果が活かされたこのような人工物と自然物によって形作られたものでなければならないことになるでしょう。

たとえば、豪雪地帯の風景を形作るのにふさわしい人工物を挙げるよう求められ、雪と寒さに対する工夫が施された伝統的な日本家屋を最初に心に浮かべる人は少なくないでしょう。風景が（ I ）を目指すべきものであるなら、オレンジ色の素焼きの瓦と白い塗り壁、Bコウタクを欠いた黒い鉄製の外槽用建材などを特徴とするステレオタイプ（注1）な「南欧風」の外観の住宅を豪雪地帯の山間部に建設し、庭にヤシやゲッケイジュやオリーブを植えたり、プールを造ったりすることは、あるべき風景の破壊に他なりません。

けれども、よい風景とは風土に適応した風景であるという見解が妥当であるなら、よい風景のうちに私たちが見出す伝統的な生活の産物は何もかも、風土を反映するものであり、風土の記号と見なされることになってしまいます。家屋の細部に施された工夫、食物を保存し調理する技術、安全上の観点から行われた植樹や植林など、すべてが風土への適応という観点から評価されねばなりません。また、風土との関係で説明することのできないものは、よい風景に属さぬもの、空間から取り除かれるべき不純物、夾雑物（注2）となります。

しかし、風景が風土への適応の努力の結果として形作られたものであり、風土の記号にすぎぬとするなら、風景を眺めるとは、目の前の人工物や自然物について、②これを人間の生活空間に一方的に刻印された風土の記号と見なし、いわば「テキスト」として解釈する作業となります。いや、正確に言うなら、この作業は、普通の意味におけるテキストの解釈ではなく、カバラの（注3）な暗号解読であり、それ自体は決して姿を現すことのない抽象的な「風土」という名の隠れた神、deus absconditus（注4）のa恣意的な追想にすぎません。これは、雪の上に遺された足跡を手がかりに雪男の姿を心に描くよ

うなものであると私は考えます。

日本全体の風土についても、事情は同じです。すなわち、風土論の延長上には、日本に固有の風土への適応こそ風景のあるべき姿であり、日本の「原風景」であるという主張が姿を現します。これは、一種の環境決定論<sup>(註5)</sup>であると言ふことができます。

風土と風景がこのような仕方で結びつけられるかぎり、類型としての日本的なもののCリンカクを迎えることは困難ではないでしょう。すなわち、日本的風景なるものがありうるとするなら、それは、風土の刻印に至る所に認められる風景であり、風土に対する受動的な適応の結果であることが明らかであるような風景となります。

当然、それは、「あべのハルカス<sup>(註5)</sup>」や「横浜ランドマークタワー<sup>(註6)</sup>」などの無国籍的な機能主義的な人工物、つまり——『旧約聖書』の「創世記」が描写するバベルの塔の建設が神への反抗であったのと同じ意味において——風土の刻印に抵抗するように見える人工物からなるものであつてはなりません。反対に、「日本的風景」は、伝統的な和風の建築や街並み、和風の食生活、和風の行動様式、和風の日用品、和風の植物相など、風土への受動的な従順な適応の努力の産物の組み合わせに求められねばならないでしょう。

なお、私がここで「和風」と呼ぶのは、現在の日本人の平均的な生活の内部において実質的な役割を担っているかどうかには関係なく、過去における使用と実績とエキゾティズム<sup>(註7)</sup>のうち、少なくともいずれか一方を基準として選出され、そして、③類型化された植民地的な日本らしさです。人力車、いわゆる「忍者」のDジウウング、和傘、提灯、女性の袴<sup>(註8)</sup>、駄菓子、なまこ壁、歌舞伎、琴や三味線の音などはいずれも、この意味において和風と見なされているものです。

風土と風景を一体のものとして見なす風景論が想定するよい風景、つまり類型化された日本的風景とは、和風の風景を指します。日本的風景とは、和風の人工物と自然物を物理的な要素とする風景に他ならないことになります。

たしかに、古いものにE負ける古さは、それ自体として決して無価値ではありません。なぜなら、新しいもののすべてが古いものになり得るわけではないからです。万物は例外なく、新しいものとしてこの世に生まれ、しかし、多くは、古いものとなりえぬまま、時間の暴力に負け、この世から姿を消します。古くなり得るというのは、既にそれ自体として一つの価値なのです。

けれども、古くからあるもの、あるいは、昔から使われていたものを、実際の生活の要求とは関係なく無理やり修復、再現、維持、管理し、これらを強引に組み合わせて和風の空間をデザインしても、これは、現代の平均的な日本人の生活から乖離<sup>(註9)</sup>したもの、よそよそしいものになることを避けられません。それは、日本的風景ではなく、単なる「日本ばい風景」にすぎないのです。現代では、日本人のかなりの部分は、伝統的な日本家屋に暮らしているわけではなく、いわゆる「和食」がつねに食生活の中心を占めているわけではなく、普段の生活において着物を身につけているわけではなく、人力車や駕籠<sup>(註10)</sup>や牛車を日常の移動手段としているわけではないからです。もちろん、忍者や侍など、本物のテーマパークの小道具以外の何ものでもありません。

それにもかかわらず、二〇世紀の終わり頃から、④「修景」という不思議な二字熟語——「景観

を修復すること」の短縮表現なのだと思います——が公文書を中心として多用されるようになり、それとともに、ステレオタイプな和風の街並みが全国の至る所に姿を現しました。具体的には、三〇年くらい前から、「修景事業」「街並み整備事業」などの名のもとに、住宅や商店の外観を、大抵の場合は暗色と白色の和風に統一し、これをいわゆる「街づくり」の刺激とする試みが全国の多くの自治体で進められています。最も有名なのは、小布施町<sup>おほせまち</sup>（長野県）の事例でしょう。小布施町は、多くの旅行者が訪れる観光名所になり、この意味において「成功」した事例であると普通には考えられています。

しかし、小布施町において進められてきた「街並み修景事業」の対象は、町が設立した美術館である北斎館と和菓子店の小布施堂本店を中心とする狭い範囲にとどまります。対象となる面積は、テーマパークとしては十分な広さであるとは言え、町域全体の１％以下にすぎません。同じように白川村（岐阜県）では、有名な合掌集落を始めとする「重点景観形成地区」の狭い範囲だけが修景の対象です。川越市の「菓子屋横町」、京町家の家並みを再現した京都市の「花見小路」、長浜市（滋賀県）の「黒壁スクエア」なども、事情は基本的に同じです。

現地に身を置けば、大抵の場合、特別に作られた空間の範囲は、**F 否定**なくわかります。建物の外観に統一感が与えられ、しかも、道路の舗装の素材によって周囲から区別されて閉じた空間を作っているのが普通だからです。地方中小都市の貧寒とした無個性な街並みの中に、あるいは、何も無い山林の中に、特別な舗装の道路と暗色と白色を中心とする外観の家並み、しかも、土産物屋と飲食店を主体とする家並みが急に現れ、観光客が集まっているのが見えれば、そこが何か特別な場所であることは、誰にでも見当がつくでしょう。

これらの事業が目指すのは、現実の住民の生活空間の充実ではなく、観光資源としての「和風テーマパーク」の造成にすぎません。修景によって産み出された街並みは、入場料を**G チョウシヨウ**しない点を除けば、本物のテーマパークである「日光江戸村」や「東映太秦映画村」（京都市）と何ら異ならないことになります。和風の家屋を並べ、和風の街並みを作り、里山を保護し、「日本ばい風景」を作り出す……本物のテーマパークである、「志摩スペイン村」がステレオタイプな「スペインらしさ」の**⑤ パッチワーク**であり、「ハウステンボス」（長崎県）がステレオタイプな「オランダらしさ」の**⑥ パッチワーク**であるとするなら、同じように、修景によって産み出された日本各地の公営の和風テーマパークは、それぞれの地域に実際に住む人々の生活の実態から少なからず乖離したステレオタイプな「和風」の**⑦ パッチワーク**であり、「日本ばさ」の、「オリエンタリズム」の**⑧ パッチワーク**に他ならないのです。

（Ⅱ）、「修景」などに煩わされることなく、「アミューズメント」を堂々と**b 標榜**する日光江戸村や東映太秦映画村の方が、公設の和風テーマパークよりも、少なくとも細部については、風土に忠実な和風の空間の再現に熱心です。時代劇の製作のための厳密な時代**H コウシヨウ**のおかげなのでしょう、これらのテーマパークでは、観光客を除く「通行人」はすべて、侍、町人、百姓、遊女など、施設内の役割に応じて異なる衣装を身につけています。また、小布施町でも花見小路でも菓子屋横町でも、路面の大半は石畳風の素材で舗装されていますが、江戸時代の日本の都市の普通の街路が

全面的に舗装されていたはずはありません。実際、日光江戸村でも東映太秦映画村でも、路面の大部分は土のままです。風土に忠実な「修景」を追求するのなら、路面を土に戻し、空気がIカンゾウするときには、打ち水で砂埃を抑えるべきでしょう。

現代の風景論が想定するよい風景とは日本的風景であり、この場合の日本的風景とは、和風の風景、「日本ばい風景」に他なりません。そして、和風にデザインされた閉じた空間を一つの類型として大量に複製する試みが修景の実質であり、この事業の結果として、全国の至る所に和風テーマパークが造られました。

ただ、冷静に考えるなら、和風の空間を類型として実体化し、これを際限なく複製し続けるのは、本質的に後ろ向きの作業であり、各地の伝統の物理的残滓の縮小再生産と見世物としての動態展示以上の意味をここに見出すことはできないように思われます。

人類の長い歴史のほぼすべての時期において、風土に対する態度がおおむね（Ⅲ）であり従順であり、生き残りを目指した風土への適応が最も重要な課題であり続けたことは事実です。伝統的な生活空間を細部に至るまで満たす風土の記号は、生き残りの努力の当然の結果なのです。

しかし、日本人が風土にこれまで（Ⅲ）に適応せざるを得なかったとしても、今後も引き続き（Ⅲ）に適応しなければならない理由は何もありません。実際、現代の平均的な日本人の生活は、風土に従順であるわけではなく、既に現在では、自然の暴力にはテクノロジーによって対抗し、伝統の圧力には反抗することが許されているように見えます。

わが国の風土のもとで快適な生活を維持する努力が和風の空間を作り上げたこと、したがって、近代のある時期まで、快適な空間、日本的風景が否応なく和風とならざるをえなかったことは確かです。また、この点は、決して忘れられてはならないと思います。けれども、二十一世紀において日本的風景を和風に求めることは、もはや惰性以外何ものでもないこともまた事実です。

空間のデザインの範例を歴史や伝統や慣習や風土に求めることは安直であり、どれほど手間がかかる作業が積み重ねられるとしても、そこには、生産性も独創性も認めることができません。⑥和風の呪縛から逃れ、風景の日本的性格を形式的な観点から規定することが必要であるように思われます。

（清水真木『新・風景論』による。なお、本文に一部変更・省略がある）

# 【語注】

注1：ステレオタイプ……決まりきってありふれていること。

注2：カベラ的……宗教の神秘的儀式。

注3：deus absconditus……「見えざる神」で「神」と同義。

注4：環境決定論……人間は自然環境の強い支配を受け、その適応の結果として地域が生じる、とする考え方。

注5：あべのハルカス……大阪市にある超高層ビル。ビル高300mで日本一。

- 注 6. : 横浜ランドマークタワー……横浜市にある超高層ビル。ビル高 296m で日本第二位。  
 注 7. : エキゾティズム……異国風の。異国趣味の。  
 注 8. : 乖離……そむき離れること。  
 注 9. : 残滓……残りかす。  
 注 10. : 動態展示……動いた状態で展示公開すること。

問 1. 波線部 A ～ I のカタカナ部分は漢字に改め、漢字はよみがなを答えなさい。

問 2. 二重傍線部 a 「恣意的」・ b 「標榜する」の意味としてふさわしいものを次の選択肢のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

a 「恣意的」

- ア つじつまが合わない      イ 無理にこじつける      ウ 道理に合わない  
 エ 不明瞭であいまいな      オ 主観的で自分勝手な

b 「標榜する」

- ア 主張をはっきりと示す      イ 相手に対して開き直る      ウ 大げさに公表する  
 エ わざと言いふらす      オ 本物らしく見せかける

問 3. 傍線部①「この考え方」とはどういう考え方が。「……考え方」となるような形で二十五字以内で答えなさい。

問 4. ( I ) に入る言葉を文中から六文字で抜き出しなさい。

問 5. 傍線部②「人間の生活空間に一方向的に刻印された風土の記号と見なし、いわば『テキスト』として解釈する」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを選択肢のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 風景を構成する人工物や自然物は風土に適応したものであるにしても、単に空間を占める帰結物としか見ず、それを生み出した伝統や慣習という時間的な背景を考慮に入れない表面的な見方をする事。  
 イ 風景を構成する人工物や自然物はすべて風土への適応の結果であつて、「よい風景」であると無批判に受け取り、変化に対応することを拒絶し、現在の風景を伝統としてかたくなに守ろうとすること。  
 ウ 風景を構成する人工物や自然物は風土を反映したものとして、それ自体の意味や価値を重視せず、風土を構成する一つの要素とみなし、実体のない抽象的な風土を理解するための材料として扱うこと。

- エ 風景を構成する人工物や自然物はそこに住む人々の感情を無視して人為的に風土に適応させたものとみなし、風土を現実の生活から隔たった、一種の理想郷として作られた抽象的な観念として扱うこと。
- オ 風景を構成する人工物や自然物は人間の努力が生み出したものではなく、全て風土が必然的に生み出したもので、風土を人々に対してテクストのような規範と強制力を持った絶対的なものとみなすこと。

問6. 傍線部③「類型化された植民地的な日本らしさ」には、筆者のどのような考えが反映されているか。その説明として最も適当なものを次の選択肢のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 全国どこでも一律に、現在の生活の実態から遊離した過去のものを取りそろえ、それが日本の風土を象徴するものとして疑いもなく信じ込んでいる様は滑稽であり、現実の生活感覚を失った前近代的な愚かしいものである。
- イ 現在の生活では使われなくなったり、生活の実感からは縁遠くなった過去の遺物や風習を、現在の日本の風土を代表するものとして商品化し、観光資源として外部の客にへつらって売り込もうとするのはさかしいものである。
- ウ 日本の風土を象徴させるものとして選択されたものは過去の遺物ばかりで、外国人の歓心を買うようなものを寄せ集めた通り一遍のものにすぎず、日本の実態を知らせる前向きな工夫をしようとしないうえに怠惰さが感じられる。
- エ 日本の風土を表すものとして選択されたものは、観光用として商品化できるものばかりを意図的に選んだもので、現在の住民の意識や実態を無視した一方的な「和風」の創出であり、背景に権力による強制的なものがある。
- オ 現在の生活では使われなくなったものを日本の風土を象徴するものとして、全国一律に見なす背景には、風土に従順で、周囲の同調圧力に逆らえない日本人の心性があり、変更を恐れる勇気と積極性のなさが現れたものである。

問7. 傍線部④「『修景』という不思議な二字熟語」と筆者が言う理由として、次のように文章にまとめた。( )の中に入る言葉を、指定された字数で文中から抜き出さなさい。

「修景」という名の下に行われる街づくりは、(① 三文字)という言葉が示すとおり、行政主導で行われ、全国至る所同じような(② 七文字)な街並みとなつてしまい、現実の住民の(③ 四文字)の充実を考えたものではないところに問題がある。町域全体に対して、ごく狭い範囲にとどまる、周辺から区別された(④ 三文字)空間を形作り、建物の(⑤ 二文字)は大抵の場合、暗色、白色を基調とし、石畳による舗装道路と、(⑥ 三文字)が与えられているが、中身の乏しい(⑦ 三文字)な街並みである。これでは単なる(⑧ 四文字)としての(⑨ 八文字)の造成にすぎない。

問 8. 傍線部⑤「ベツチワーク」とは「布の端切れをつなぎ合わせて大きな布や小物を作る手芸」のことである。ここにどのようなことを喩えたのか。「実態」・「異質」という言葉を用いて、五〇字以内で説明せよ。

問 9. (Ⅱ)に入る言葉を次の選択肢のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 逆説的なことに イ 暗示的なことに ウ 相対的なことに  
エ 教訓的なことに オ 皮相的なことに

問 10. (Ⅲ)に共通して入る漢字三文字の言葉を文中から抜き出さなさい。

問 11. 傍線部⑥「和風の呪縛から逃れ、風景の日本的性格を形式的な観点から規定することが必要である」とはどういうことが。その説明として最も適当なものを次の選択肢のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 快適な空間を作るためにはある程度風土に即した和風の景観とならざるを得なかったことは認めるが、現代の住民の実態、時代の変化に対応できていないことは明白であるため、形式だけになった伝統という情緒的な要素を排除し、テクノロジーを重視した機能的な空間をデザインする必要があるということ。
- イ 今までは慣習、伝統という目に見えないものに規定され、現代の生活実態に合わない歪みが現れるようになってきたため、慣習や伝統を、目に見え、じかに触れ、実感できるような工夫をして、伝統文化と現代生活とをすり合わせ、両者がその機能や要求を満たしてゆけるようにしてゆく必要があるということ。
- ウ 町づくりは風土を反映したものでなければならないという行政的な画一化された考えを改め、住民の民意と生活の実態に即した実効性のある計画に切り替えるべきで、そのためには風土に縛られない現代的なデザインを集めた景観を作るなど、今後住民の総意による大胆な計画が必要になるということ。
- エ 日本の風土を伝統的なものとして固定観念に縛られて、自然や人工物はすべて風土を反映したものであるという見方をやめ、風景を構成する様々な要素をそれぞれ自体意味のある固有のものと即物的に見直し、それが風景をどのように規定してゆくのかと、現実の実態を見すえた観点から評価する必要があるということ。
- オ 行政による日本の都市空間の設計は、前例踏襲という形式的な手続きのみを重視した結果、固定観念に縛られた通俗的なものに堕し、伝統の物理的残滓の縮小再生産と酷評される現状を省みて、空間デザインをもっと独創的なものにするためには活力ある民間団体、民間企業に切り替える必要があるということ。

# 数学

第1問, 第4問は必答問題である。第2問, 第3問はそれぞれについて1問を選択する問題である。(第1問～第3問の配点は80, 第4問の配点は20)

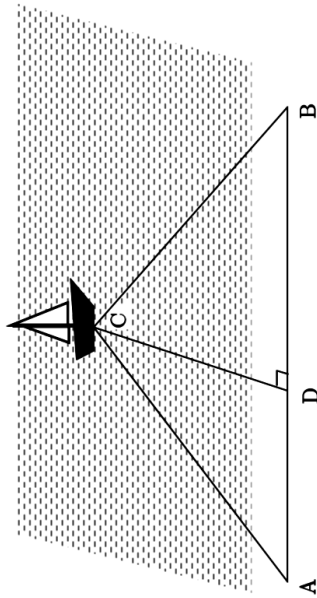
第1問 (必答問題) 次の各問の□に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問1 次の式を計算せよ。

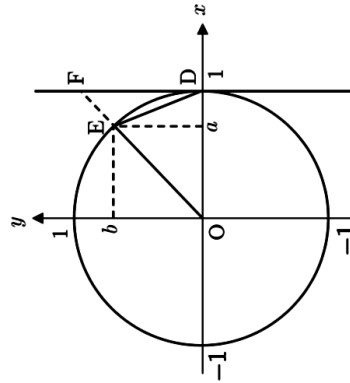
- (1)  $3^4 \div 9^2 \cdot \left(-\frac{1}{3}\right)^2 = \boxed{7}$
- (2)  $2(a-b) - 4(b-a) - 3(2a-b) = \boxed{1}$
- (3)  $\sqrt{12} - 3\sqrt{3} + \sqrt{48} = \boxed{2}$
- (4)  $\frac{\sin 60^\circ}{\cos 30^\circ} + \frac{\sin 45^\circ}{\cos 45^\circ} = \boxed{2}$

問2  $a, b, c, d$  を定数とする。放物線  $y = ax^2 - \frac{3}{2}x$  は, 直線  $y = bx$  との交点  $(2, c)$  において接線  $y = 2x + d$  をもつ。このとき,  $a = \boxed{1}$ ,  $b = \boxed{2}$ ,  $c = \boxed{2}$ ,  $d = \boxed{2}$  である。

問3 沖合に停泊中の船までの距離を測りたい。図のように, 海岸に1km離れた2地点A, Bをとり, 各地点から船の位置Cを観測して,  $\angle BAC = 60^\circ$ ,  $\angle ABC = 45^\circ$ を得た。線分AB上に点Dをとり,  $AB \perp DC$ とすると, BとCの距離は  $\boxed{2}$  km, DとCの距離は  $\boxed{1}$  kmである。

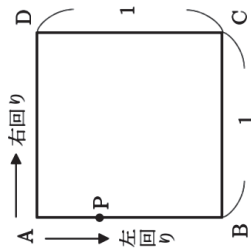


問4 図のような円  $x^2 + y^2 = 1$  上の点を  $E(a, b)$ , 直線  $OE$  と直線  $x = 1$  の交点を  $F(1, c)$  とする。  $0 < a < 1$ ,  $0 < b < 1$  のとき,  $b, c$  の値を  $a$  を用いて表すと,  $b = \boxed{\frac{c}{2}}$ ,  $c = \boxed{2a}$  である。また, 点  $D(1, 0)$  とするとき, 線分  $DE$  の長さを  $a$  を用いて表すと  $DE = \boxed{1 - a}$  である。



第2問 (選択問題) 問A、問Bいずれかを選択し、次の  に当てはまる数式または数値等を、解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問A 1辺の長さが1の正方形ABCDの辺上を動く点Pがある。さいころを投げて、3の倍数の目が出たら左回りに2だけ点Pが進み、その他の目が出たら右回りに1だけ点Pが進む。さいころを2回投げたとき、頂点Aを出発した点Pが頂点Aに到達する確率は  である。また、さいころを3回投げたとき、頂点Aを出発した点Pが頂点Dに到達する確率は  である。また、さいころを5回投げたとき、頂点Aを出発した点Pが頂点Aに到達する確率は  である。



問B  $\triangle ABC$  において、 $\angle A = \angle R$ 、 $AB = 4$ 、 $AC = 3$  とし、外心を O、内心を I とする。このとき、 $\triangle ABC$  の外接円の半径は  であり、内接円の半径は  である。また、直線 AI と辺 BC の交点を D とするとき、 $\triangle ODI$  の面積は  である。ただし  $\angle R = 90^\circ$  とする。

第3問 (選択問題) 問C、問Dいずれかを選択し、次の  に当てはまる数式または数値等を、解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問C  $\triangle ABC$  において、辺 BC を 1:2 に内分する点を P とし、AP を 3:1 に内分する点を Q、辺 AC を 1:3 に内分する点を R とする。このとき  $\overline{AP}$  と  $\overline{QR}$  を  $\overline{AB}$ 、 $\overline{AC}$  を用いて表すと、 $\overline{AP} = \text{チ}$ 、 $\overline{QR} = \text{ツ}$  である。また、線分 QR と辺 AB の長さの比は  $QR : AB = \text{テ}$  である。

問D 第6項が5、第15項が-22である等差数列  $\{a_n\}$  において、一般項  $a_n$  は  $a_n = \text{チ}$  である。この数列の項が初めて負の数となるのは第  項である。また、この数列の初項から第30項までの各項の絶対値の和は  である。

第4問 (必答問題) 次の問の解答を、過程を含めて指定の欄に記述しなさい。

放物線  $y = x(x-2)$  と直線  $y = ax$  について、次の各問に答えよ。ただし、 $a > 0$  とする。

- (1) 放物線  $y = x(x-2)$  と直線  $y = ax$  の交点で原点以外の座標を  $a$  を用いて表せ。
- (2) 放物線  $y = x(x-2)$  と  $x$  軸で囲まれた図形の面積を求めよ。
- (3)  $x$  軸と直線  $y = ax$ 、放物線  $y = x(x-2)$  で囲まれた図形の面積が(2)で求めた面積の7倍になるとき  $a$  の値を求めよ。

数学

第1問, 第4問は必答問題である。第2問, 第3問はそれぞれについて1問を選択する問題である。(第1問～第3問の配点は80, 第4問の配点は20)

第1問 (必答問題) 次の各問の□に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問1 次の式を計算せよ。

- (1)  $\frac{20x^3y}{27a^2b^3c} \times \frac{9a^2b^4c}{4x^2y} = \boxed{7}$
- (2)  $\frac{a}{a+b} + \frac{b}{a-b} + \frac{2ab}{a^2-b^2} = \boxed{1}$
- (3)  $(1+2i)(1-3i) = \boxed{ウ}$  (ただし,  $i$  は虚数単位)
- (4)  $(\sin 45^\circ + \cos 45^\circ)(\sin 45^\circ - \cos 45^\circ) = \boxed{エ}$

問2 Aさんはある地点Oを出発して, 毎秒1.5 mの速さで北に向かって歩く。一方, BさんはOの西60 mの地点からAさんと同時に出発して, 毎秒1.5 mの速さで東に向かって歩く。2人の距離が最も近くなるのは出発してから□オ□秒後である。また, そのときの2人の距離は□カ□ mである。

問3  $\triangle ABC$ において,  $AB=5$ ,  $BC=7$ ,  $CA=3$ のとき,  $\angle A = \boxed{キ}$ ,  $\triangle ABC$ の面積は□ク□である。

問4  $f(x) = x^3 + ax + b$ が $(x-2)^3$ で割り切れるならば, 定数 $a = \boxed{ケ}$ ,  $b = \boxed{コ}$ である。

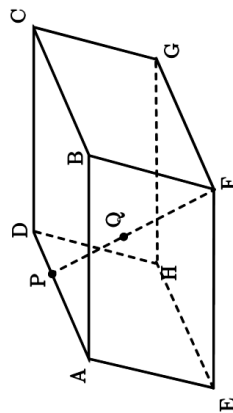
第2問 (選択問題) 問A, 問Bいずれかを選択し, 次の□に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問A 袋の中に白球2個と黒球8個が入っている。A, Bの2人が次のように1個ずつ球を取り出し, 取り出した球はもとに戻さないものとする。まず, Aが球1個を取り出し, それが黒球のときだけAがもう1個取り出す。次にBが球1個を取り出し, それが黒球のときだけBがもう1個取り出す。このとき, Aが白球を取り出す確率は□サ□である。また, Bだけが白球を取り出す確率は□シ□である。また, AとBが共に白球を取り出す確率は□ス□である。

問B  $\triangle ABC$ において, 辺ABを2:1に内分する点をP, 線分CPを3:2に内分する点をQ, 直線AQと辺BCの交点をRとする。このとき,  $\triangle PBC$ と直線ARについてメネラウスの定理を用いて, 線分BRとRCの長さの比を求めると $BR:RC = \boxed{サ}$ である。同様にして, 線分AQとQRの長さの比は $AQ:QR = \boxed{シ}$ である。また $\triangle ABC$ の面積は $\triangle QRC$ の面積の□ス□倍である。

第3問 (選択問題) 問C, 問Dいずれかを選択し, 次の□に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問C 図のような平行六面体において, 辺ADを2:1に内分する点をPとし, 線分FPを3:2に内分する点をQとする。 $\overrightarrow{AB} = \vec{b}$ ,  $\overrightarrow{AD} = \vec{d}$ ,  $\overrightarrow{AE} = \vec{e}$ とするとき,  $\overrightarrow{AQ}$ と $\vec{b}$ ,  $\vec{d}$ ,  $\vec{e}$ を用いて表すと $\overrightarrow{AQ} = \boxed{セ}$ ,  $AQ = \boxed{ソ}$ である。また, 線分AQとQGの長さの比は $AQ:QG = \boxed{タ}$ である。



問D 数列 $\{a_n\}$ が次のように定められている。

$$a_1 = 2, a_{n+1} = a_n + 2n - 3 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

このとき、第5項は $a_5 = \boxed{\text{セ}}$ であり、一般項は $a_n = \boxed{\text{ソ}}$ である。また、初項から第10項までの和は $\boxed{\text{タ}}$ である。

第4問 (必答問題) 次の問の解答を、過程を含めて指定の欄に記述しなさい。

半径3の球に内接する正六角柱の体積の最大値を求めたい。次の手順にしたがって求めよ。

- (1) 半径 $r$ の円に内接する正六角形の面積を求めよ。
- (2) 正六角柱の高さを $2x$ とおいて、底面の正六角形が内接する円の半径を求め、正六角柱の体積を $y$ とおいて、 $y$ を $x$ の式で表せ。
- (3)  $y$ の増減表を作成し、体積が最大のときの高さ $x$ と体積を求めよ。

## 第1問

- A (1) 3 (2) 5 (3) 1 (4) 2 (5) 4  
 B (1) 2-1-4-3 (2) 1-4-3-2  
 C (1) 4 (2) 2 (3) 2 (4) 4 (5) 1 (6) 2 (7) 1 (8) 3 (9) 4 (10) 3  
 (11) 3 (12) 2 (13) 4 (14) 1 (15) 1 (16) 2  
 D (1) 2 (2) 3

## 第2問

- A (1) 3 (2) 1 (3) 3 (4) 5 (5) [1] 2 [2] 3 [3] 4 [4] 2  
 B (1) [1] 2 [2] 3 [3] 1 [4] 3 [5] 1  
 (2) [6] 4 [7] 4 [8] 4 [9] 2  
 (3) [10] 2 [11] 3 [12] 1  
 (4) [13] An example of a Japanese onomatopoeic word for rain is *para para*. It is the sound we use to describe a light rain. It is rain like a sprinkle of water which falls lightly and quietly. You may not be able to decide whether or not to use an umbrella in this kind of rain.  
 [14] I would like to spend a rainy day at home by the window. I would sip on a hot cup of coffee and enjoy the sound of the rain while reading a book. I would feel happy that I am inside, warm, and dry.

## 第1問

- A (1) 3 (2) 4 (3) 2 (4) 1 (5) 5  
 B (1) 3-1-2-4 (2) 4-1-3-2  
 C (1) 1 (2) 2 (3) 1 (4) 4 (5) 1 (6) 3 (7) 1 (8) 2 (9) 4 (10) 3  
 (11) 1 (12) 1 (13) 2 (14) 2 (15) 4 (16) 3  
 D (1) 1 (2) 2

## 第2問

- A (1) 4 (2) 2 (3) 2 (4) 5 (5) [1] 2 [2] 3 [3] 4 [4] 4  
 B (1) [1] 4 [2] 1 [3] 3 [4] 4 [5] 3 (2) [6] 2 [7] 1 [8] 3 [9] 4  
 (3) [10] 2 [11] 1 [12] 2  
 (4) [13] A traditional event that my family and I participated in when I was little is *Setsubun*. My father put on a scary demon mask. When he came in the front door, we all threw beans at him and yelled "Demons out, fortune in!" It was always fun to do this. We don't do it anymore, but we still eat a special sushi roll with seven ingredients for good luck.  
 [14] On January first, my family and I went to a big shrine in our neighborhood. We do this every year for our first shrine visit of the new year to make a prayer. There were so many people standing in line waiting to ring the bell and pray. After that I bought a lucky amulet and read my fortune for the new year. I got the luckiest one! Then we ate a lot of food from the food stalls around the shrine. There was also a big fire which I enjoyed watching. I think it was a nice way to start the new year.

国語 総合型選抜入学試験[併願型] 解答

- 問1 ①業務 ②しんちょう ③放棄 ④悔恨 ⑤過(苛)酷 ⑥疾患 ⑦きょうさく ⑧封鎖 ⑨喪失 ⑩落胆
- 問2 ㊦ e ① d
- 問3 イ
- 問4 c
- 問5 何が起こるかわからない絶対の外部
- 問6 この世への信頼
- 問7 絶え間なく、無数の小さな問題にかかずらう
- 問8 最初：いつまでも 最後：事である。
- 問9 生き延びるために身をあずけた、極小の希望すら、粉々に砕かれてしまったから。
- 問10 現在にあって不在のものを思うことができる  
目の前にあるもの、現前から離れることができる
- 問11 直喩(明喩)  
隠喩(暗喩)

国語 一般選抜入学試験[前期・専願型] 解答

- 問1 A 試行錯誤 B 光沢 C 輪郭 D 装束 E そな F いやおう G 徴収 H 考証 I 乾燥
- 問2 a オ b ア
- 問3 風景の評価する場合、風土との関係を前提とする(別解 風景を風土の一部として理解する)
- 問4 風土への適応
- 問5 ウ
- 問6 イ
- 問7 ①公文書 ②ステレオタイプ ③空間生活 ④閉じた ⑤外観 ⑥統一感 ⑦無個性  
⑧観光資源 ⑨和風テーマパーク
- 問8 町のわずかな一画に、実際に住む人々の生活の実態からかけ離れた異質な空間を造成すること。
- 問9 ア
- 問10 受動的
- 問11 エ

■ 第1問

問1 ア  $\frac{1}{9}$  イ  $-3b$  ウ  $3\sqrt{3}$  エ 2

問2 オ  $\frac{7}{8}$  カ  $\frac{1}{4}$  キ  $\frac{1}{2}$  ク  $-\frac{7}{2}$

問3 ケ  $\frac{3\sqrt{2}-\sqrt{6}}{2}$  コ  $\frac{3-\sqrt{3}}{2}$

問4 サ  $\sqrt{1-a^2}$  シ  $\frac{\sqrt{1-a^2}}{a}$  ス  $\sqrt{2-2a}$

■ 第2問

問A セ  $\frac{1}{9}$  ソ  $\frac{2}{9}$  タ  $\frac{40}{243}$

問B セ  $\frac{5}{2}$  ソ 1 タ  $\frac{5}{28}$

■ 第3問

問C チ  $\frac{2\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{AC}}{3}$  ツ  $-\frac{1}{2}\overrightarrow{AB}$  テ 1 : 2

問D チ  $-3n + 23$  ツ 8 テ 859

■ 第4問

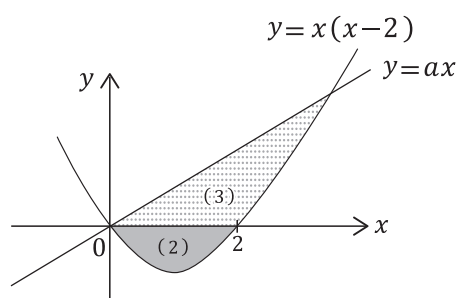
(1)  $x^2 - 2x = ax$  をとく

$$x^2 - (a+2)x = 0$$

$$x\{x - (a+2)\} = 0$$

$$x=0, a+2$$

$$\therefore (a+2, a^2+2a)$$



(2)  $\int_0^2 -(x^2 - 2x) dx = \left[ -\frac{x^3}{3} + x^2 \right]_0^2 = \frac{4}{3}$

(3)  $x$  軸と直線  $y = ax$ , 放物線  $y = x(x-2)$  で囲まれた図形は図の点ハッチングの領域とわかる。

(2) と (3) の領域の合計が  $\frac{4}{3}$  の8倍、すなわち  $\frac{32}{3}$  となる場合の  $a$  が求める値である。

$$\int_0^{a+2} ax - (x^2 - 2x) dx = \left[ -\frac{x^3}{3} + \frac{a+2}{2}x^2 \right]_0^{a+2} = \frac{(a+2)^3}{6}$$

$$\frac{(a+2)^3}{6} = \frac{32}{3}$$

$$(a+2)^3 = 64$$

$$a+2 = 4$$

$$\therefore a = 2$$

■ 第1問

問1    ア  $\frac{5}{3}bx$     イ  $\frac{a+b}{a-b}$     ウ  $7-i$     エ 0

問2    オ 20    カ  $30\sqrt{2}$

問3    キ  $120^\circ$     ク  $\frac{15}{4}\sqrt{3}$

問4    ケ -12    コ 16

■ 第2問

問A    サ  $\frac{17}{45}$     シ  $\frac{13}{45}$     ス  $\frac{4}{45}$

問B    サ 1:1    シ 4:1    ス 10

■ 第3問

問C    セ  $\vec{b} + \vec{d} + \vec{e}$     ソ  $\frac{2}{5}(\vec{b} + \vec{d} + \vec{e})$     タ 2:3

問D    セ 10    ソ  $n^2 - 4n + 5$     タ 215

■ 第4問

(1) 面積を  $S$  とおくと、図1より

$$\begin{aligned} S &= 6 \cdot \frac{1}{2} r^2 \sin 60^\circ \\ &= 3r^2 \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{3\sqrt{3}}{2} r^2 \end{aligned}$$

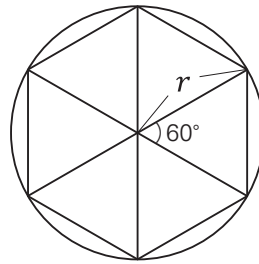


図1

(2) 正六角柱の底面の半径を  $r$  とおくと図2より

$$x^2 + r^2 = 3^2$$

$$r^2 = -x^2 + 9$$

$$r = \sqrt{-x^2 + 9}$$

$$y = \frac{3\sqrt{3}}{2} r^2 \cdot 2x$$

$$= \frac{3\sqrt{3}}{2} (-x^2 + 9) \cdot 2x$$

$$y = -3\sqrt{3}x^3 + 27\sqrt{3}x$$

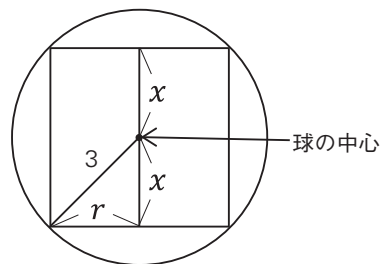


図2

ただし  $0 \leq x \leq 3$

(3)  $y' = -9\sqrt{3}x^2 + 27\sqrt{3}$

$y' = 0$  において

$-9\sqrt{3}(x^2 - 3) = 0$

$x = \pm\sqrt{3}$

$0 \leq x \leq 3$  の区間において増減表は

|      |   |     |            |     |   |
|------|---|-----|------------|-----|---|
| $x$  | 0 | ... | $\sqrt{3}$ | ... | 3 |
| $y'$ |   | +   | 0          | -   |   |
| $y$  | 0 | ↗   | 54         | ↘   | 0 |

これより、 $x = \sqrt{3}$  のとき  $y$  は最大値 54 をとる。

六角柱の高さ  $2\sqrt{3}$  のときの体積 54 が最大の体積となる。

# オープンキャンパスに参加しよう！

2022年 7月30日(土)・31日(日)

合格者である在学生や教員と話ができる「相談コーナー」や、入試の対策講座、入試参考作品の展示など入試の準備としても、とても役立つイベントです。この機会をお見逃しなく！



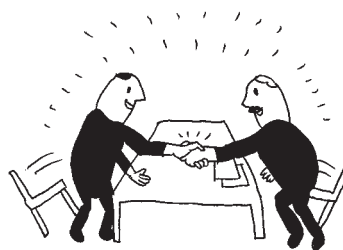
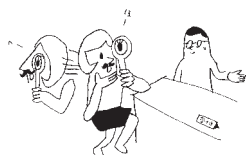
※実施内容は変更になる場合がありますので、必ず右のQRコードから大学HPをご覧ください。



## 進学相談会

開催場所や日程は大学HPをチェック！

進学相談会では相談コーナーのほか、さまざまな資料の配布を行います。また、美術系大学のみの相談会場では入試参考作品の展示も行います。参加無料、事前申込みも不要です。保護者の方もぜひご来場ください。



## @tuad と友だちになろう！

オープンキャンパスなどのイベント最新情報をはじめ、高校生・受験生の皆さんに役立つさまざまな情報をいち早くお届け！

LINEアプリの友だちタブを開き、画面右上にある友だち追加ボタン＞[ID検索]をタップして、登録してください。

